



取扱説明書

Offirio
オフィリオ プロジェクター

EB-Z8050W



EB-Z8000WU

マニュアル中の表示の意味





• 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

• 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  p.122
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：[戻る]ボタン
「(メニュー名)」 明るさ(太字の表記)	環境設定メニューの項目を示しています。 例： 画質調整メニュー - 「明るさ」を選びます。 画質調整メニュー - 明るさ

マニュアル中の表示の意味..... 2

はじめに

本機の特長..... 7

天吊り設置時の使い易さを徹底的に追求.....	7
安心の信頼性.....	8
大画面とこだわりの色.....	8
充実したセキュリティー機能.....	8
扱いやすさを満載.....	8
ネットワーク接続で投写 (EB-Z8050Wのみ).....	9

各部の名称と働き..... 10

前面/上面.....	10
インターフェイス.....	11
背面.....	12
リモコン.....	14

便利な機能

投写映像のゆがみを補正する..... 17

Quick Cornerでゆがみを補正する.....	18
----------------------------	----

投写映像を切り替える..... 20

入力信号を自動検出して切り替える(入力検出).....	20
リモコンで目的の映像に切り替える.....	21

投写を効果的にする機能..... 22

映り具合を選ぶ(カラーモードの選択).....	22
オートアイリス(自動絞り)を設定する.....	23
映像を一時的に遮断する(シャッター).....	23
映像を停止させる(静止).....	24
アスペクト比を切り替える.....	24
切り替え方法.....	24
ビデオ機器の映像のアスペクトを切り替える.....	25

コンピューター映像のアスペクトを切り替える.....	26
説明箇所を指し示す (ポインター).....	29
映像を部分的に拡大する (Eズーム).....	30

複数台利用時に操作対象プロジェクターを限定する..... 31

プロジェクターのIDを設定する.....	32
プロジェクターIDの確認方法.....	32
リモコンのIDを設定する.....	33

複数台設置時の色差補正 (マルチスクリーンカラーアジャストメント)..... 34

補正手順の概要.....	34
補正の方法.....	34

セキュリティー機能..... 36

利用者を管理する (パスワードプロテクト).....	36
パスワードプロテクトの種類.....	36
パスワードプロテクトの設定方法.....	36
パスワードの認証.....	37
ボタン操作を制限する.....	38
操作ボタンロックの設定.....	38
レンズ操作ロック.....	39
盗難防止用ロック.....	40
ワイヤロックの取り付け方.....	40

環境設定メニュー

環境設定メニューの操作..... 42

機能一覧..... 43

画質調整メニュー.....	43
映像メニュー.....	44
設定メニュー.....	46
拡張設定メニュー.....	47
ネットワークメニュー (EB-Z8000WUのみ).....	49
ネットワークメニュー (EB-Z8050Wのみ).....	52
ネットワークメニュー操作上のご注意.....	53
ソフトキーボードの操作.....	53

基本設定メニュー.....	54
無線LANメニュー (オプション品の無線LANユニット装着時のみ).....	55
セキュリティーメニュー (オプション品の無線LANユニット装着時に有効)	57
有線LANメニュー.....	61
メールメニュー.....	62
その他メニュー.....	63
初期化メニュー.....	64
情報メニュー (表示のみ).....	65
初期化メニュー.....	66

困ったときに

ヘルプの見方.....	68
故障かなと思ったら.....	69
インジケータの見方.....	69
⬇ インジケータが赤色点灯/点滅時.....	70
⚠ ㊦ インジケータが点滅/点灯時.....	71
インジケータを見てもわからないとき.....	73
映像に関するトラブル.....	74
投写開始時のトラブル.....	78
その他のトラブル.....	80

付 録

いろいろな設置方法.....	83
各部の掃除.....	84
本機の掃除.....	84
レンズの掃除.....	84
エアフィルターの掃除.....	84
消耗品の交換方法.....	87
リモコンの電池の交換方法.....	87
ランプの交換.....	88

ランプの交換時期.....	88
ランプの交換方法.....	88
ランプ点灯時間の初期化.....	90
エアフィルターの交換.....	90
エアフィルターの交換時期.....	90
エアフィルターの交換方法.....	90

オプション・消耗品一覧.....	93
オプション品.....	93
消耗品.....	93

輸送時のご注意.....	94
近くへの移動.....	94
輸送する場合.....	94
梱包の準備.....	94
梱包と輸送の注意.....	94

ユーザーロゴの登録.....	95
----------------	----

WPS(Wi-Fi Protected Setup)で無線LANアクセスポイントに 接続する (EB-Z8050Wのみ).....	97
接続設定の方法.....	97
プッシュボタン方式で接続する.....	98
PINコード方式で接続する.....	99

スクリーンサイズと投写距離.....	101
EB-Z8000WUの投写距離.....	101
EB-Z8050Wの投写距離.....	102

LAN ケーブルの接続.....	103
------------------	-----

外部モニターとの接続.....	104
-----------------	-----

投写レンズユニットの取り外しと取り付け.....	105
取り外し方.....	105
取り付け方.....	106

異常通知メールの見方.....	108
ESC/VP21コマンド.....	109
コマンドリスト.....	109
ケーブル配線.....	109
シリアル接続.....	109
通信プロトコル.....	110
PJLinkについて.....	111
対応解像度一覧.....	112
EB-Z8000WUの対応解像度.....	112
コンピューター映像 (アナログRGB).....	112
コンポーネントビデオ.....	113
コンボジットビデオ/S-ビデオ.....	113
HDMI/DVI-D入力端子からの入力信号.....	114
EB-Z8050Wの対応解像度.....	115
コンピューター映像 (アナログRGB).....	115
コンポーネントビデオ.....	116
コンボジットビデオ/S-ビデオ.....	116
HDMI/DVI-D入力端子からの入力信号.....	117
仕様一覧.....	118
本機仕様.....	118
接続端子.....	119
ソフトウェアの動作条件.....	120
外形寸法図.....	121
用語解説.....	122
一般のご注意.....	124
本製品について.....	124
電波法による規制.....	124
商標について.....	124
索引.....	126



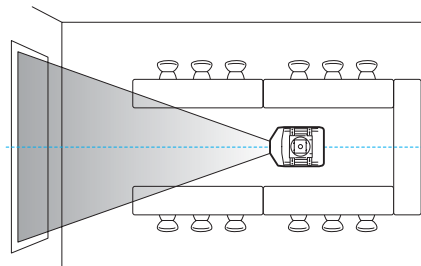
はじめに

ここでは、本機の特長と各部の名称について説明しています。

天吊り設置時の使い易さを徹底的に追求

レンズセンターの形状

レンズがプロジェクター本体の中央にありますので、重量バランスが取りやすく天吊り設置の作業を容易にします。また、スクリーンと本機の位置合わせが簡単に行えます。



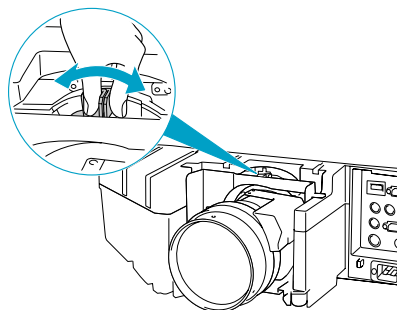
電動レンズシフト・ズーム・フォーカス搭載

映像の投写位置を上下方向と左右方向に調整できるレンズシフトを搭載していますので、設置の自由度がグンと広がります。

レンズシフト・ズーム・フォーカスはリモコンを使って電動で調整できますので、天吊り設置時の作業性が向上します。

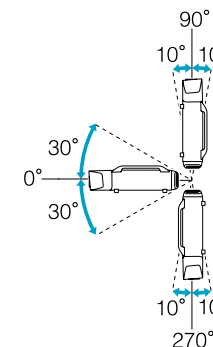
6種類のオプションレンズを用意

投写距離や目的に合わせて最適なレンズを選べます。オプションレンズはバヨネット式で簡単・手軽に交換、装着できます。 [p.93](#), [p.105](#)



90°単位で水平、垂直に投写可能

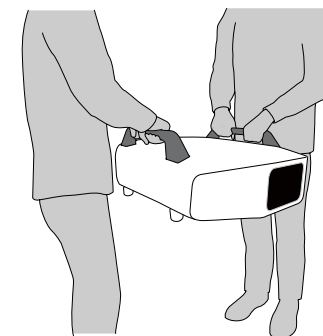
通常の水平投写に加えて上向き投写、下向き投写ができますので、天井に投写したり、床面に投写したりとお客様のアイデアしだいインパクトのあるコミュニケーションツールとしてお使いいただけます。 [p.83](#)



お使いになる環境になじみ、設置作業もしやすいデザイン

洗練された本体デザインに加えて、ケーブルカバーが本体と一体化しているため雑然としたケーブル類をきれいに包み隠しスッキリと綺麗に見せます。

設置・運搬のしやすさを考慮してハンドルをバータイプにしましたので、安心して持ち運べます。天吊り時はこのハンドル部分に天吊り金具を取り付けます。本体をひっくり返す必要がないので容易に設置できます。操作パネルも背面にあり設置時にスクリーンを見ながら操作できます。



メンテナンスの容易さ

ランプはドライバーを使わずに、背面のカバーを開けてそのまま水平に引き抜いて交換できます。

エアフィルターも1箇所だけなので清掃・交換が簡単にできます。ランプやエアフィルターのカバーは手を離しても落下しませんので、天吊りされていても簡単に安定した体勢で交換できます。

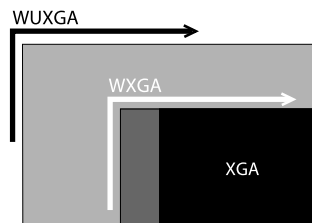
安心の信頼性

本機は2灯式で、投写ランプを2個搭載しています。万一、使用中に一方のランプが割れたり失灯する事態が起きても、もう一方のランプで投写を継続できるため、大事な機会を損なうことはありません。

大画面とこだわりの色

超高解像度のWUXGAパネルを搭載 (EB-Z8000WUのみ)

圧倒的な情報量を大画面で提供できます。頻繁に画面を切り替えたり、スクロールする必要もなく一覧性に富んだ、見る人に負担のない情報伝達ができます。



エプソンシネマフィルターによりデジタルシネマの色域に対応

カラーモードでシアターまたはsRGBを選択すると、エプソンシネマフィルターが働き、デジタルシネマで使用されている色再現領域に100%対応します。これにより、コンテンツに含まれる色情報を余すところなく、深みのある色で表現します。

こだわりの色調整

カラーモードに加えて、映像の絶対色温度やRGB各色の強さの調整ができます。さらに、RGBCMYごとに、色相、彩度、明度を調整できますので、細部にわたって優れた深さとカラーマッチングで映像を作り出すことができます。

充実したセキュリティー機能

利用者を制限・管理するパスワードプロテクト

パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。 [☞ p.36](#)

操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック

イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。 [☞ p.38](#)

多様な盗難防止の機構を装備

本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。 [☞ p.40](#)

- セキュリティースロット
- セキュリティーケーブル取付け

扱いやすさを満載

ダイレクトにパワーオン/オフ

会議室など電源を集中管理している部屋でも管理元の主電源を入れる/切るして本機の電源をオン/オフすることができます。

クールダウン不要ですばやい片付け

使用後、本機の電源ボタンを押せばクールダウンを待つことなく電源ケーブルを抜き片付けられます。

ネットワーク接続で投写 (EB-Z8050Wのみ)

同梱の『EPSON Projector Software for Meeting & Monitoring』を使うとネットワークを有効に活用でき、効率的で多様なプレゼンテーションや会議が行えます。 ➡ [『プロジェクター活用ガイド』](#)

ネットワークを介してプロジェクターとコンピューターを接続

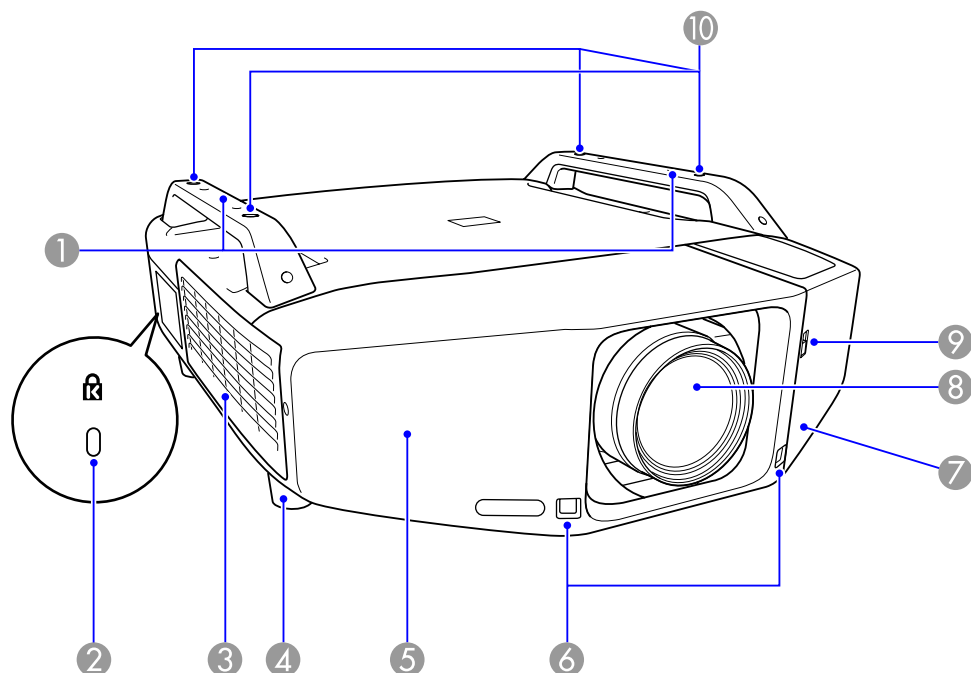
すでに構築されているネットワークシステムに本機を接続し、ネットワーク上の複数のコンピューターから本機を共用できます。会議やプレゼンテーション中も接続ケーブルをつなぎ替えることなく各自のコンピューターから資料を投写できます。コンピューターと本機の距離も気にする必要がありません。


ワイヤレスでコンピューターと接続









本機にオプション品の無線LAN ユニットを装着すれば、ワイヤレスでコンピューターと接続できます。

前面/上面

標準ズームレンズを装着しているときのイラストになっています。

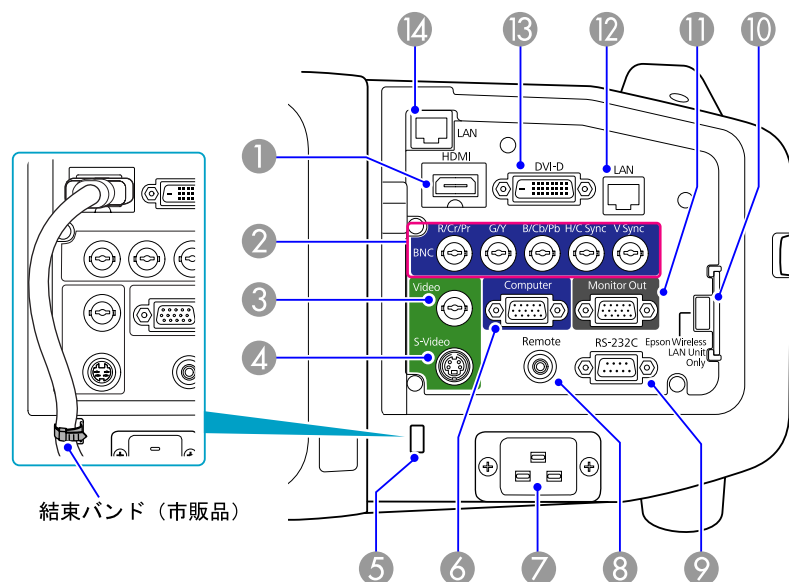


名称	働き
① ハンドル	<p>本機を持ち運ぶときは、このハンドルを持って移動してください。また、盗難防止用ワイヤロックで本機を固定する際は、このハンドルにワイヤを通して固定します。  p.40</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>本機は重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。</p> </div>

名称	働き
② セキュリティスロット (🔒)	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。  p.40
③ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を空冷するための空気を取り込みます。ここにホコリがたまると内部の温度が上昇し、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。エアフィルターは定期的に清掃してください。  p.84, p.90
④ フロントフット	机上設置時に、水平方向の傾きを調整するときに回して伸縮させます。 天吊り時は取り外すことができます。  『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑤ フロントカバー	投写レンズ交換時に、このカバーを取り外してレンズユニットを脱着します。  p.105 通常は必ず取り付けられた状態で使用してください。
⑥ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。  『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑦ インターフェイスカバー	映像機器と接続するときに、このカバーを取り外して中の端子に接続ケーブルを接続します。  『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』, p.11
⑧ 投写レンズ	ここから映像を投写します。
⑨ インターフェイスカバー開閉スイッチ	インターフェイスカバーの開閉時に操作します。  『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑩ 天吊り固定部 (4箇所)	天井から吊り下げて使うとき、オプション品の天吊り金具を取り付けます。  p.83, p.93

インターフェイス

インターフェイスカバーを外すと以下の端子が装備されています。インターフェイスカバーの外し方と映像機器との接続方法 ❷『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』

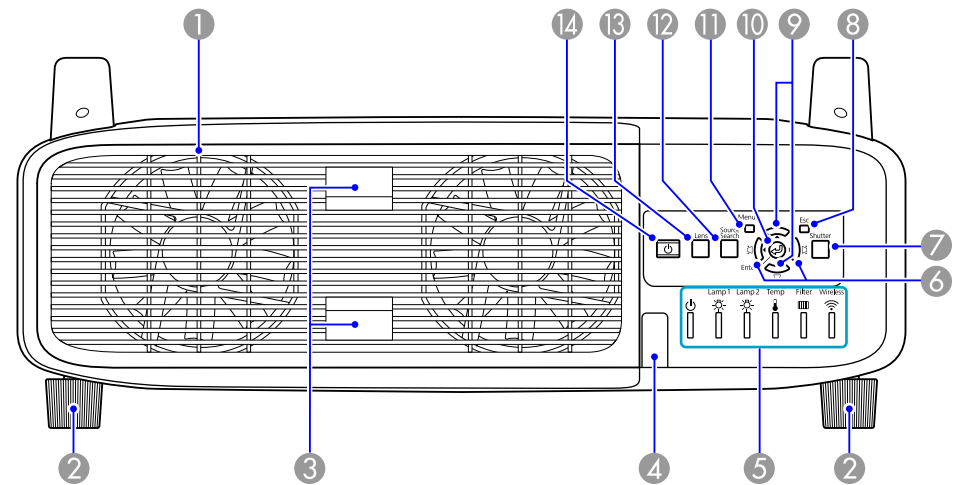


名称	働き
① HDMI入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピュータの映像信号を入力します。本機はHDCP❷に対応しています。❷『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
② BNC入力端子	コンピュータのアナログRGB信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。❷『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
③ Video入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。❷『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』

名称	働き
④ S-Video入力端子	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。❷『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑤ ケーブルホルダー	外径の太いHDMIケーブルを入力端子に接続したときに、ケーブルの重さでコネクタの差し込みが不完全になることがあります。これを防ぐために市販の結束バンド(ケーブルタイ)をこのホルダーに通してケーブルを固定します。
⑥ Computer入力端子	コンピュータのアナログRGB信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。❷『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑦ 電源端子	電源ケーブルを接続します。❷『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑧ Remote端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を入力します。リモコンケーブルをこのRemote端子に差し込むと本機のリモコン受光部は機能しなくなります。
⑨ RS-232C端子	コンピュータから本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。❷ p.109
⑩ 無線LANユニット用端子 (EB-Z8050Wのみ)	オプション品の無線LANユニットを装着します。
⑪ Monitor Out端子	外部モニターと接続し、Computer入力端子またはBNC入力端子から入力しているコンピュータのアナログRGB信号を出力します。コンポーネントビデオ信号やComputer、BNC入力端子以外の端子から入力している信号は出力しません。❷ p.104
⑫ LAN端子 (EB-Z8000WUのみ)	LANケーブルを接続し、ネットワークに接続します。❷ p.103

名称	働き
⑬ DVI-D入力端子	DVI-D出力端子を持つコンピュータのデジタルRGB信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。▶▶『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑭ LAN端子 (EB-Z8050Wのみ)	LANケーブルを接続し、ネットワークに接続します。▶▶ p.103

背面

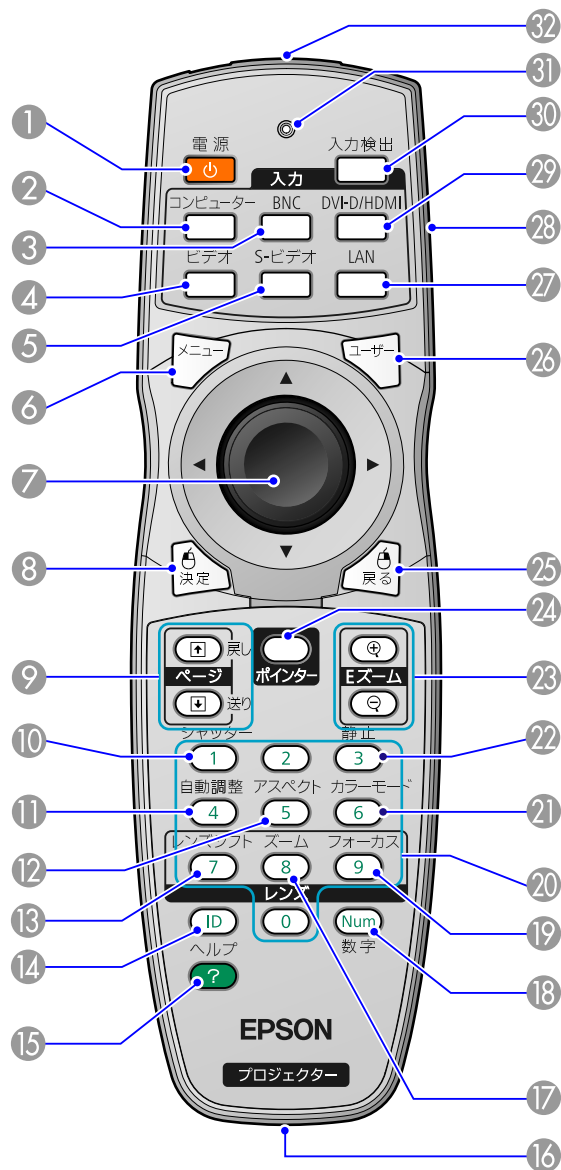


名称	働き
① 排気口 (ランプカバー)	本機内部を空冷した空氣の吐き出し口です。また、ランプ交換時にこのカバーを開けて中のランプを交換します。 <div>⚠ 注意 投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。</div>
② リアフット	机上設置時に、水平方向の傾きを調整するときに回して伸縮させます。 天吊り時は取り外すことができます。▶▶『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
③ ランプカバー開ツマミ	ランプカバーを開けるとき操作します。▶▶ p.88

名称	働き
④ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑤ 状態インジケータ	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。左図はEB-Z8050Wです。EB-Z8000WUにはWirelessインジケータはありません。☞ p.69
⑥ [◀/▶][◀/▶]ボタン	ヨコ台形補正するときを押します。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、[◀][▶]ボタンとして機能し、メニュー項目や設定値を選択します。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』, p.42
⑦ [Shutter]ボタン	押すたびに電動シャッターが閉/開します。投写中に電動シャッターを閉めると投写を完全に遮断できます。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』, p.23
⑧ [Esc]ボタン	実行中の機能を終了します。 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☞ p.42
⑨ [▽/▲][▽/▲]ボタン	タテ台形補正するときを押します。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、[▲][▽]ボタンとして機能し、メニュー項目や設定値を選択します。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』, p.42
⑩ [Enter]ボタン	コンピューターのアナログRGB信号を投写中に押すと、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。☞ p.42
⑪ [Menu]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。☞ p.42

名称	働き
⑫ [Source Search]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☞ p.20
⑬ [Lens]ボタン	押すたびに、フォーカス調整 - ズーム調整 - レンズシフト調整の順で投写レンズの調整ができます。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑭ [⏻]ボタン	電源をオン/オフします。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』

リモコン



名称	働き
① [⏻]ボタン	本機の電源をオン/オフします。☛『セットアップガイド(EB-Z8050W)』,『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
② [コンピューター]ボタン	Computer入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.21
③ [BNC]ボタン	BNC入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.21
④ [ビデオ]ボタン	Video入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.21
⑤ [S-ビデオ]ボタン	S-Video入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.21
⑥ [メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。☛ p.42
⑦ [⦿]ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。 ☛ p.42, p.68 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、ボタンを傾けると傾けた方向(8方向)にマウスポインタが移動します。
⑧ [決定]ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛ p.42, p.68 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、マウスの左ボタンとして機能します。
⑨ [ページ]ボタン [⏮][⏭]	オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時に、このボタンを押して投写中のPowerPointのスライドを次に送る/前に戻すことができます。
⑩ [シャッター]ボタン	押すたびに電動シャッターが閉/開します。 投写中に電動シャッターを閉めると投写を完全に遮断できます。☛『セットアップガイド(EB-Z8050W)』,『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』, p.23

名称	働き
⑪ [自動調整]ボタン	コンピュータのアナログRGB信号を投写中に押すと、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。
⑫ [アスペクト]ボタン	押すたびに、アスペクト比▶が切り替わります。 ☞ p.24
⑬ [レンズシフト]ボタン	レンズシフトの調整をするときに押します。 ☞ 『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑭ [ID]ボタン	リモコンIDを設定するときに押します。 ☞ p.33
⑮ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☞ p.68
⑯ リモート端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を出力します。リモコンケーブルをこのリモート端子に差し込むとリモコン発光部は機能しなくなります。
⑰ [ズーム]ボタン	ズーム調整するときに押します。 ☞ 『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑱ [数字]ボタン	パスワードの入力やネットワークメニューでIPアドレスなどを入力するときに使います。 ☞ p.36
⑲ [フォーカス]ボタン	フォーカス調整するときに押します。 ☞ 『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
⑳ テンキーボタン	パスワード入力やリモコンIDの指定、ネットワークメニューでIPアドレスなどを入力するときに使います。 ☞ p.33, p.36
㉑ [カラーモード]ボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。 ☞ p.22
㉒ [静止]ボタン	映像を一時停止/解除します。 ☞ p.24

名称	働き
㉓ [Eズーム]ボタン [Ⓚ][Ⓛ]	[Ⓚ]ボタンを押すと、投写サイズを変えずに映像を拡大します。 [Ⓛ]ボタンを押すと、[Ⓚ]ボタンで拡大した結果を縮小します。 ☞ p.30
㉔ [ポインター]ボタン	投写中の映像をポインターで指し示すときに押します。 ☞ p.29
㉕ [戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☞ p.42, p.68 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、マウスの右ボタンとして機能します。
㉖ [ユーザー]ボタン	環境設定メニューの項目のうち良く使われる6項目から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。 ☞ p.46 初期設定ではテストパターンが割り当てられています。
㉗ [LAN]ボタン	EasyMP Network Projectionの映像に切り替えます。(EB-Z8050Wのみ) ☞ p.21 EB-Z8000WUをお使いのときは、このボタンを押しても何も機能しません。
㉘ IDスイッチ	リモコンのID設定の有効(On)/無効(Off)を切り替えるスイッチです。 ☞ p.31
㉙ [DVI-D/HDMI]ボタン	押すたびに、DVI-D入力端子、HDMI入力端子からの映像に切り替えます。 ☞ p.21
㉚ [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。 ☞ p.20
㉛ インジケーター	リモコン信号を出力しているときに発光します。
㉜ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。




便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

投写映像のゆがみを補正するには、以下の2通りの方法があります。


- Quick Corner

スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。  [p.18](#)

正確に台形補正を行うときは、Quick Cornerで行うことをお勧めします。

- タテヨコ補正

タテ方向の台形ゆがみ、ヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。

タテヨコ補正は、本体操作パネルの[▽/▲] [□/▼] [◀/▶] [▶/▶]ボタンで簡単に補正できます。  『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』



タテヨコ補正は、レンズシフト位置を以下の状態にして行ってください。レンズシフト位置が以下と異なるときは正しく補正できません。

- 左右レンズシフトを中央に合わせる。
- 上下レンズシフトを最上、または最下に合わせる。

ズームの調整値によっては正しく補正できないことがあります。また、補正を行うと投写画面サイズが小さくなる場合があります。設置の際は投写距離にご注意ください。

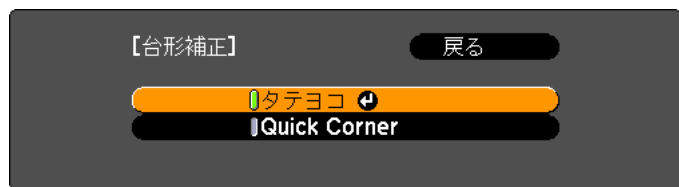
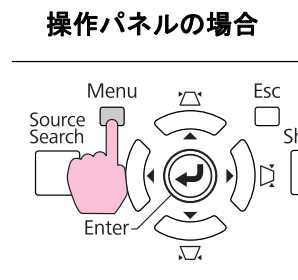
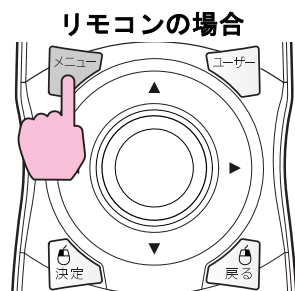
Quick Cornerとタテヨコ補正は併用できません。環境設定メニューの**台形補正**で使用する補正方法を選択すると、選択した補正方法が操作パネルの[▽/▲] [□/▼] [◀/▶] [▶/▶]ボタンに割り当てられます。初期設定では**台形補正**が**タテヨコ**に設定されているので[▽/▲] [□/▼] [◀/▶] [▶/▶]ボタンを押すとタテヨコ補正が実行されます。

Quick Corner、タテヨコはテストパターン投写中にも実行できるので、準備作業にコンピューターなどの接続が不要です。

Quick Cornerでゆがみを補正する

操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー - 「台形補正」を選びます。
☛ 「環境設定メニューの操作」



【戻る】:戻る 【◆】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

- 2 「Quick Corner」を選択し[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。

もう一度[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押すと、次の4つのコーナーを選択する画面が表示されます。

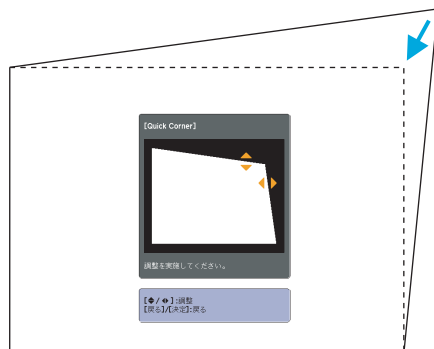


【◆/◆】:選択
【決定】:決定
【戻る】:戻る(2秒間押下で初期化/切替)

- 3 補正するコーナーをリモコンの[◆]ボタンまたは操作パネルの[△/▲] [▽/▼] [◀/◀] [▶/▶]ボタンで選択して[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。



- ④ リモコンの[⬇️]ボタンまたは操作パネルの[↖️/↗️] [↘️/↙️] [⬅️/➡️] [⬆️/⬇️]ボタンでコーナーの位置を補正します。



補正中に以下の画面が表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



- ⑤ 手順3と4を繰り返して、補正が必要なコーナーすべてを補正します。

- ⑥ 補正を終了するには、[戻る]ボタンまたは[Esc]ボタンを押します。

環境設定メニューの**台形補正**で補正方法を**Quick Corner**に変更したので、以降は操作パネルの[↖️/↗️] [↘️/↙️] [⬅️/➡️] [⬆️/⬇️]ボタンを押すと、手順2のコーナーを選択する画面が表示されます。操作パネルの[↖️/↗️] [↘️/↙️] [⬅️/➡️] [⬆️/⬇️]ボタンを押したときにタテヨコ補正したいときは、環境設定メニューの**台形補正**を**タテヨコ**に変更してください。



Quick Cornerで補正中に[戻る]ボタンまたは[Esc]ボタンを約2秒間押し続けると、以下の画面が表示されます。



Quick Corner初期化：Quick Cornerで補正した結果を初期化します。

タテヨコへ切替：補正方法を**タテヨコ**に切り替えます。

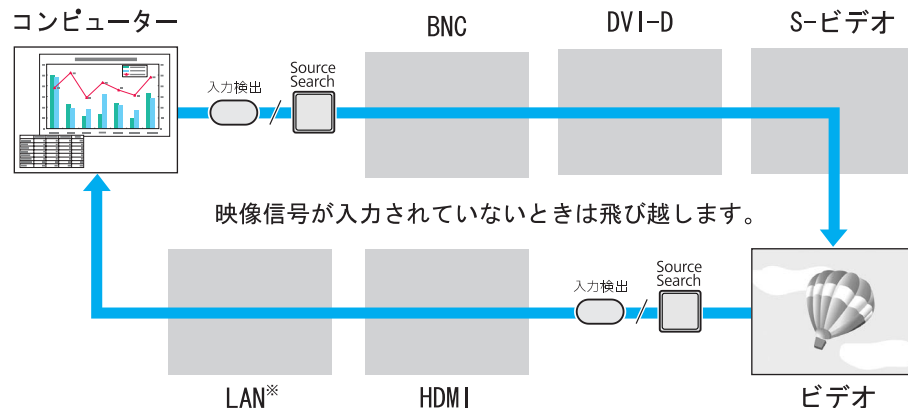
👉 [p.46](#)

投写する映像を切り替えるには以下の2通りの方法があります。

- 入力検出で切り替える
本機に接続している機器から映像信号が入力されているかを自動検出し、映像信号が入力されている機器の映像を投写します。
- ダイレクトに目的の映像に切り替える
リモコンから目的の入力端子のボタンを押して切り替えます。

入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

リモコンの[入力検出]ボタンまたは本体操作パネルの[Source Search]ボタンで切り替えると、映像信号が入力されていない入力端子には切り替わりませんので、目的の映像をすばやく投写できます。

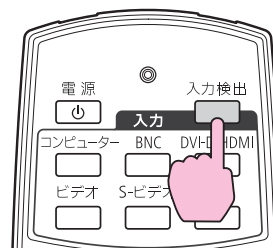


※LANに切り替わるのはEB-Z8050Wのみです。

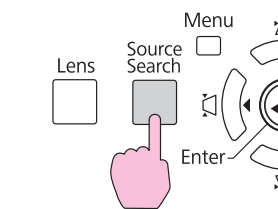
操作

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。

リモコンの場合



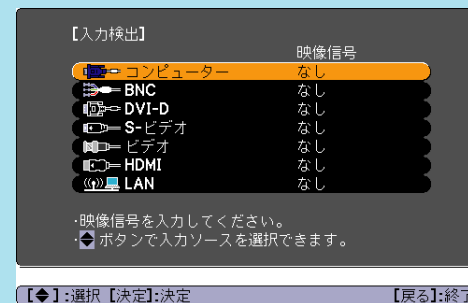
操作パネルの場合



複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで[入力検出]ボタンまたは[Source Search]ボタンを繰り返し押します。



現在投写中の映像信号しか入力されていないときや映像信号がまったく入力されていないときは、映像信号の状態を示す以下の画面が表示されます。この画面では投写したい機器を接続している入力端子を選択することができます。何も操作しないと、約10秒で画面は消えます。



LANが表示されるのはEB-Z8050Wのみです。

リモコンで目的の映像に切り替える

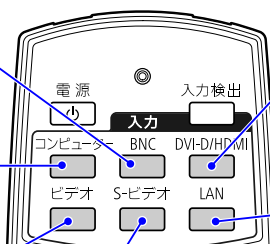
以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。

リモコン

BNC入力端子からの映像に切り替えます。

Computer入力端子からの映像に切り替えます。

Video入力端子からの映像に切り替えます。



S-Video入力端子からの映像に切り替えます。

押すたびに、DVI-D入力端子、HDMI入力端子からの映像に切り替えます。

EasyMP Network Projectionの映像に切り替えます。
(EB-Z8050Wのみ)

EB-Z8000WUをお使いのときは、このボタンを押しても何も機能しません。

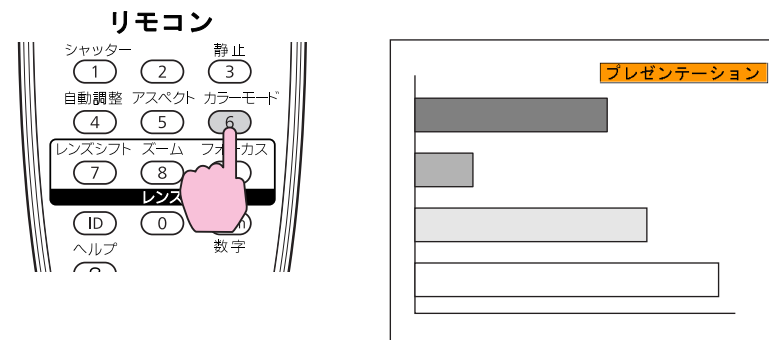
映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードです。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター※	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。本来の映像ソースに迫る色表現になります。
フォト	(コンピューター映像信号(アナログRGB/デジタルRGB)入力時のみ) 明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ	(コンポーネントビデオ、S-ビデオ、コンボジットビデオ信号入力時のみ) 明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB※	sRGB▶に準拠した映像になります。
カスタム	環境設定メニューのカラー調整でR,G,B,C,M,Yの調整をするときは事前にカスタムを選択しておきます。

※ シアターまたはsRGBを選択すると、エプソンシネマフィルターが自動装着されます。

操作



ボタンを押すと画面上に現在のカラーモード名が表示されます。

カラーモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のカラーモードに切り替わります。



環境設定メニューの画質調整メニュー - カラーモードからも設定できます。▶ p.43

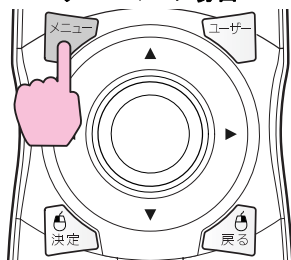
オートアイリス(自動絞り)を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

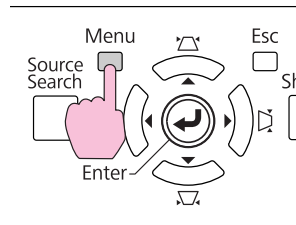
操作

- 1 [メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから画質調整メニュー - 「オートアイリス」を選びます。 ➡ 「環境設定メニューの操作」

リモコンの場合



操作パネルの場合



- 2 「オン」を選択します。
設定値はカラーモードごとに保存されます。

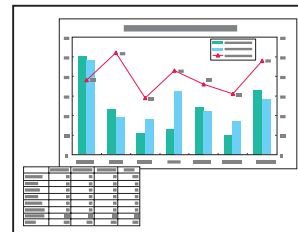
- 3 [メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



- カラーモードがダイナミック、シアター、カスタムのいずれかに設定されているときに限り、オートアイリスの設定ができます。
- マルチスクリーンをオンに設定していると、オートアイリスは働きません。

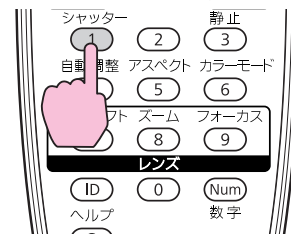
映像を一時的に遮断する(シャッター)

スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。

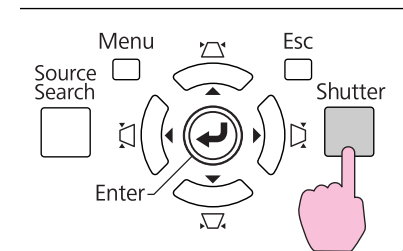


操作

リモコンの場合



操作パネルの場合



ボタンを押すたびに電動シャッターが開/閉します。

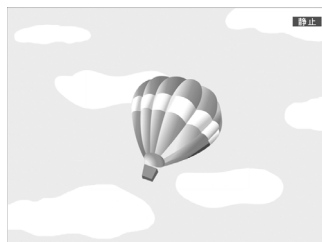
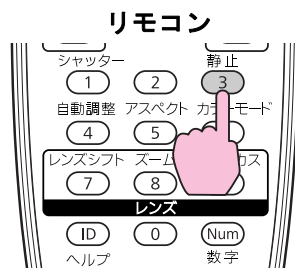


- シャッターを実行して、何も操作しない状態が約120分続くとスリープモードが働き、自動的に電源がオフになります。スリープモードを実行したくないときは**拡張設定メニュー - 動作設定 - シャッタータイマー**の設定を**オフ**に変更します。 ➡ [p.47](#)
- シャッターを閉じた状態で、[⏻]ボタンを押すと自動的にシャッターが開いて電源オフの確認メッセージが表示されます。

映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

操作



ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。



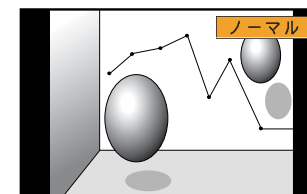
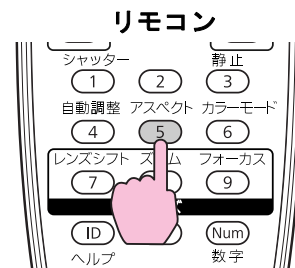
- 動画の場合は、静止を実行している間も映像は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に[静止]ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止を行えます。

アスペクト比を切り替える

ビデオ機器を接続し、デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写するときはアスペクト比▶を切り替えます。コンピュータの映像を投写サイズいっぱい投写するときなどもアスペクト比を切り替えます。切り替え方法とアスペクトの種類は次のとおりです。

切り替え方法


操作



ボタンを押すと、画面上に現在のアスペクト名が表示されます。

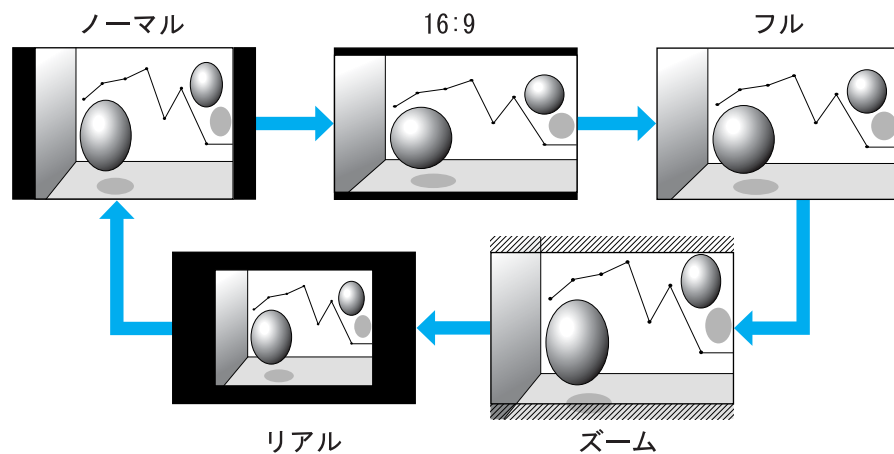
アスペクト名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のアスペクトモードに切り替わります。



環境設定メニューの映像メニュー - アスペクトからも設定できます。  p.44

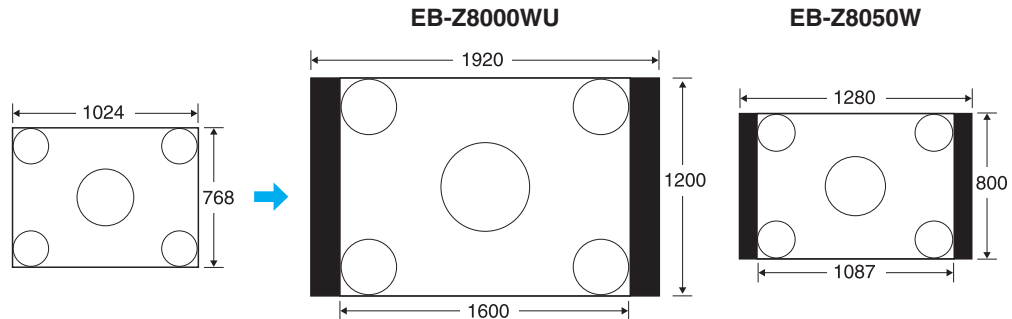
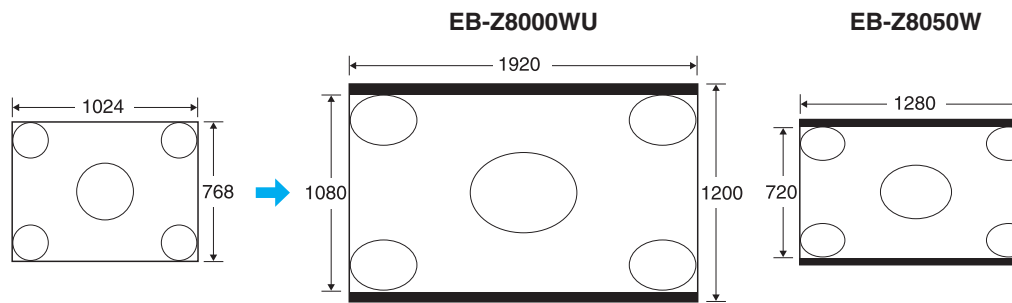
ビデオ機器の映像のアスペクトを切り替える

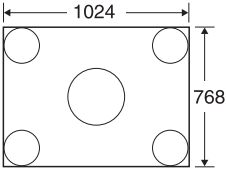
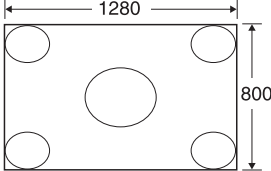
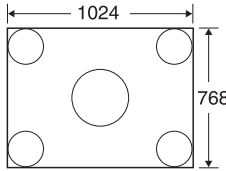
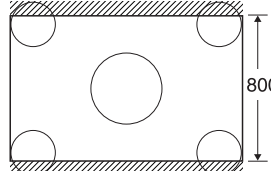
ボタンを押すたびに、ノーマル、16:9、フル、ズーム、リアルの順で切り替わります。

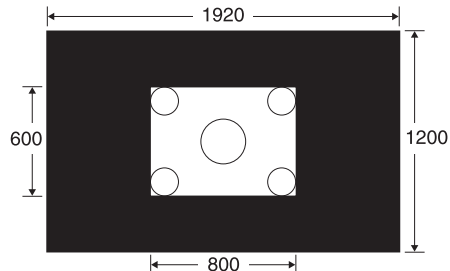
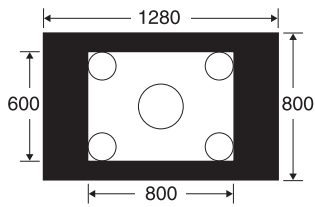
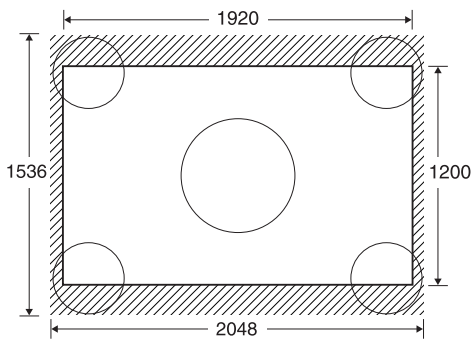
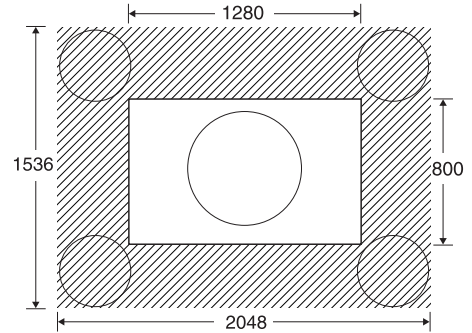


コンピューター映像のアスペクトを切り替える


Computer入力端子、BNC入力端子、DVI-D入力端子、HDMI入力端子からの映像投写時は、以下のようにアスペクトを切り替えられます。本機はワイドパネルを使用しているため、本来のアスペクト比は16:10です。16:9のスクリーンに投写するときは、アスペクトを16:9に設定してください。

設定値	動作	投写例
ノーマル (入力ソースがコンピューター/DVI-D/BNCのときに表示されます。)	入力した映像のアスペクトのまま投写サイズいっぱいになるように投写します。	<p>1024x768の信号入力時の場合</p> <div>  </div>
オート (入力ソースがHDMIのときに限り表示されます。)	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクトで投写します。	
16:9	16:9のアスペクトで投写サイズいっぱいになるように投写します。	<p>1024x768の信号入力時の場合</p> <div>  </div>

設定値	動作	投写例
フル	投写サイズいっぱいになるように投写します。	1024x768の信号入力時の場合 <div><div>EB-Z8000WU</div><div></div><div>EB-Z8050W</div><div></div></div>
ズーム	入力した映像のアスペクトのまま横方向が投写サイズいっぱいになるように投写します。投写サイズをはみ出した分は投写されません。	1024x768の信号入力時の場合 <div><div>EB-Z8000WU</div><div></div><div>EB-Z8050W</div><div></div></div>

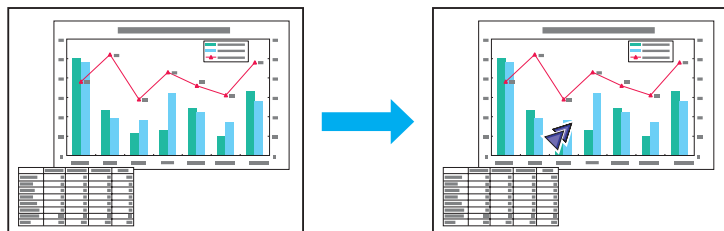
設定値	動作	投写例	
リアル	入力した映像の解像度のまま投写サイズの中央に投写します。よりはっきり投写したいときに適しています。映像の解像度がお使いの機種のパネル解像度を超えるときは、映像の周辺部分は投写されません。	<p>800x600の信号入力時</p> <p>EB-Z8000WU</p>  <p>EB-Z8050W</p> 	<p>2048x1536の信号入力時</p> <p>EB-Z8000WU</p>  <p>EB-Z8050W</p> 



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて環境設定メニューの**入力解像度**を**ワイド**または**ノーマル**に設定してください。  p.44

説明箇所を指し示す (ポインター)

ポインターで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使います。



操作

① ポインターを表示します。

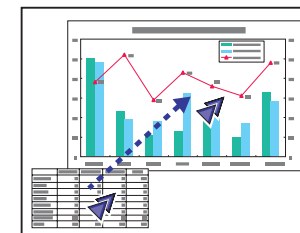
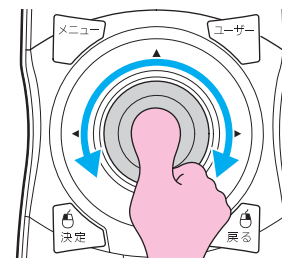
リモコン



ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

② ポインターアイコン(ポインター)を移動します。

リモコン

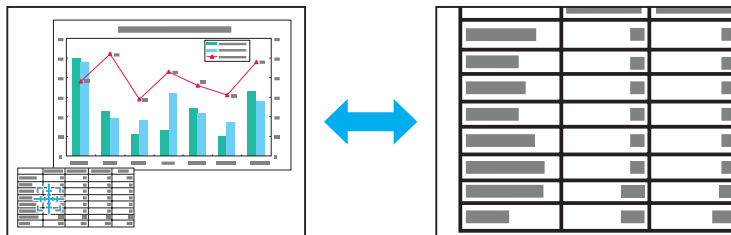


環境設定メニューの**設定メニュー** - **ポインター形状**でポインターアイコンの形状を3種類(ポインター・ポインター・ポインター)から設定できます。

☞ p.46

映像を部分的に拡大する (Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。



操作

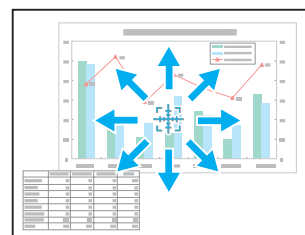
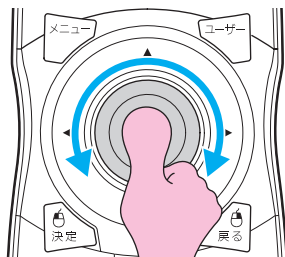
① Eズームを開始します。

リモコン



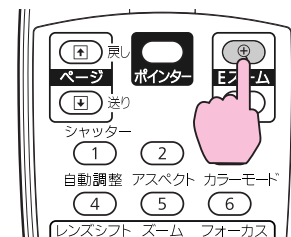
② 拡大表示したい部分にターゲットスコープ(📏)を移動させます。

リモコン



③ 拡大します。

リモコン



ボタンを押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

[Q]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。

解除するには[戻る]ボタンを押します。



- 画面上に倍率が表示されます。 1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- 拡大後は[Q]ボタンを傾けると、映像をスクロールできます。
- Eズームで拡大表示すると、プログレッシブ変換とノイズリダクションは一時的に解除されます。
- 台形補正や自動調整などの機能を使うとEズームは解除されます。





プロジェクターとリモコンにIDを設定するとIDが一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できるようになり、本機を複数台並べて使用するとき便利です。

プロジェクターには1～9までのIDを設定できます。初期値はオフになっています。

リモコンには0～9までのIDを設定できます。初期値は0になっています。リモコンの側面にはIDスイッチがあり、このスイッチをOffにしているとプロジェクターやリモコンのID設定に関わらず、すべてのプロジェクターをリモコンで操作できます。

IDの設定とリモコンのIDスイッチの組み合わせ例は、次のとおりです。

リモコン操作	組み合わせの例		解説
○(可)		プロジェクターID：1	リモコンのIDスイッチをOnにしている、プロジェクターIDとリモコンIDが同じなのでプロジェクターをリモコンで操作できます。
		IDスイッチ：On リモコンID：1	
○(可)		プロジェクターID：1	リモコンのIDスイッチをOffにすると、IDの設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
		IDスイッチ：Off リモコンID：3	
○(可)		プロジェクターID：オフ	プロジェクターIDをオフに設定すると、リモコンのID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
		IDスイッチ：On リモコンID：1	

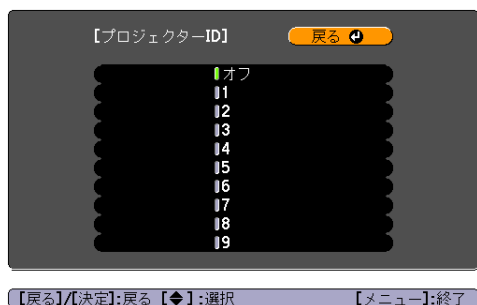
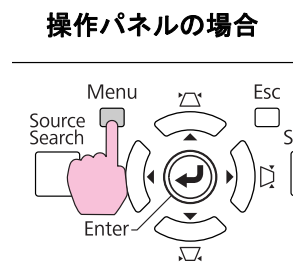
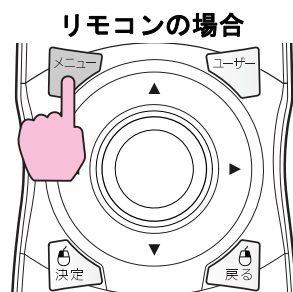
リモコン操作	組み合わせの例		解説
○(可)		プロジェクターID：1	リモコンIDを0に設定すると、プロジェクターのID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
		IDスイッチ：On リモコンID：0	
×(不可)		プロジェクターID：1	リモコンのIDスイッチをOnにしているときは、プロジェクターIDとリモコンIDが一致しないとプロジェクターをリモコンで操作できません。
		IDスイッチ：On リモコンID：3	

環境設定メニューの動作設定でリモコン種類を簡単に設定しているときはリモコンIDは設定できません。

プロジェクターのIDを設定する

操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「プロジェクターID」を選びます。 ➡ [「環境設定メニューの操作」](#)



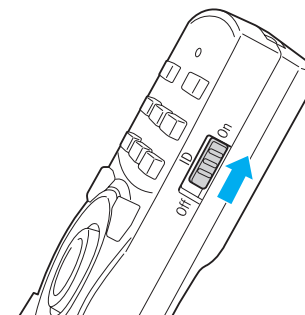
- 2 設定したいIDを選び[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンを押します。
- 3 [メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

プロジェクターIDの確認方法

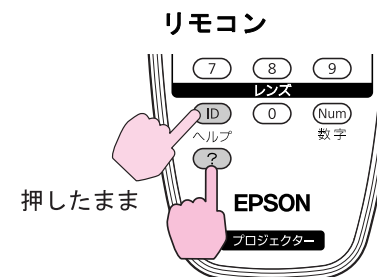
設定されているプロジェクターIDの確認は以下の操作で行います。

操作

- 1 リモコンのIDスイッチをOnに設定します。



- 2 本機で投写中に、[ID]ボタンを押したまま[ヘルプ]ボタンを押します。

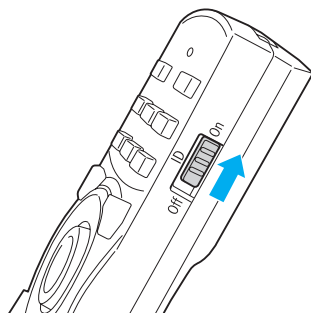


ボタンを押すと、投写画面上に現在のプロジェクターIDが表示されます。表示は約3秒で消えます。

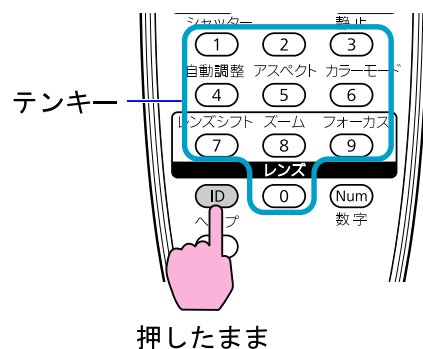
リモコンのIDを設定する

操作

- 1 リモコンのIDスイッチをOnに設定します。



- 2 [ID]ボタンを押したまま、操作対象プロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。



設定が終了するとリモコンから操作できるプロジェクターが限定されます。



リモコンIDの設定はリモコンに記憶されます。記憶したID設定は、リモコンの電池交換などで、リモコンからいったん電池を外しても残ります。ただし、電池を取り外した状態で長期間放置すると初期値(ID0)に戻ります。

本機を複数台並べて投写するとき、各投写映像の明るさと色合いの違いを手動で補正することができます。

マルチスクリーンカラーアジャストメント機能は、各プロジェクターのカラーモードを同一にした状態でお使いください。


補正を行ってもそれぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないこともあります。

マルチスクリーン実行中はオートアイリスは働きません。オートアイリスをオンに設定していても、マルチスクリーンをオンに設定するとオートアイリスは働きません。

補正手順の概要

複数台設置されているプロジェクターの中で補正が必要なプロジェクターに対して1台ずつ以下の操作を行い補正します。

1. プロジェクターIDとリモコンIDを設定する

補正対象のプロジェクターに限定して操作できるように、対象となるプロジェクターにプロジェクターIDを設定し、リモコンIDも一致するように設定します。  p.31

2. 色差補正を行う

複数台を投写した状態で色差補正を行います。黒から白を5段階に区分し各段階をレベル1～5と呼び、この5レベルすべてに対して次の2点の補正を行います。

• 明るさの補正

映像の明るさが揃うように補正します。


• 色の補正

映像の色味が合うように色補正(緑－赤)と色補正(青－黄)を補正します。

補正の方法

複数台を投写した状態でプロジェクターごとの明るさと色合いの差が縮まるように補正します。

操作

① [メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「マルチスクリーン」を選びます。  「環境設定メニュー」の操作

② 「マルチスクリーン」を「オン」に設定します。

③ 調整レベルで補正するレベルを選択します。



- レベルを選択するたびに、選択したレベルのパターンが表示されます。
- どのレベルから調整を始めてもかまいませんが、通常は1から5あるいは5から1のように暗い順あるいは明るい順に補正します。

④ 明るさ補正で明るさの補正をします。

- レベル5を選択しているときは、複数あるプロジェクターのうち最も暗い映像に合わせます。
- レベル1を選択しているときは、複数あるプロジェクターのうち最も明るい映像に合わせます。
- レベル2～4を選択しているときは、複数あるプロジェクターのうち中間の明るさの映像に合わせます。
- [決定]ボタンを押すたびにパターン表示/通常の映像表示が切り替わりますので、実際の映像で補正結果の確認や補正を行うこともできます。

- ⑤ 色補正(緑－赤)と色補正(青－黄)を補正します。
[決定]ボタンを押すたびにパターン表示/通常の映像表示が切り替わりますので、実際の映像で補正結果の確認や補正を行うこともできます。
- ⑥ すべてのレベルを補正し終わるまで、手順3 ～ 5 を繰り返し行います。
- ⑦ 補正がすべて終了したら、[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

本機には、次の充実したセキュリティ機能が備わっています。

- パスワードプロテクト
本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック/レンズ操作ロック
本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。  [p.38](#)
- 盗難防止用ロック
本機には機器そのものを持ち出されないように、多様な盗難防止の機構が備わっています。  [p.40](#)

利用者を管理する (パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定ができます。

1. 電源投入時

電源投入時をオンにすると、電源ケーブルで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。

2. ユーザーロゴ保護

せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。**ユーザーロゴ保護をオン**にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。

- ユーザーロゴのキャプチャ
- 環境設定メニューの表示設定で背景表示、スタートアップスクリーンの設定変更

3. ネットワーク保護

ネットワーク保護をオンにすると、環境設定メニューのネットワークメニューの設定変更を禁止できます。

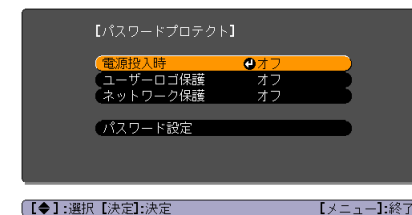
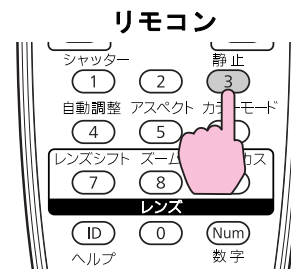
パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

操作



本機で投写中に[静止]ボタンを約5秒間押し続けます。
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。





- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。👉 **「パスワードの認証」**
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 電源投入時を有効にします。

- (1) 電源投入時を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

3 ユーザーロゴ保護を有効にします。

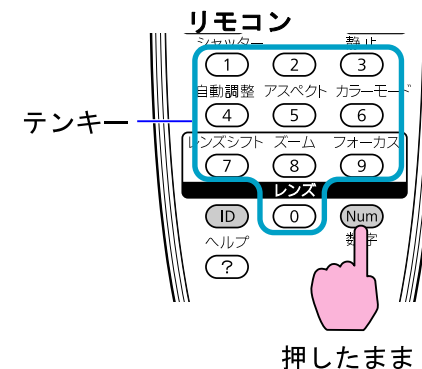
- (1) ユーザーロゴ保護を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

4 ネットワーク保護を有効にします。

- (1) ネットワーク保護を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

5 パスワードを設定します。

- (1) パスワード設定を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか?」と表示されるので、**はい**を選択し、[決定]ボタンを押します。初期設定でパスワードは0000に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。**いいえ**を選択すると、手順1の画面に戻ります。
- (3) [数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。



- (4) 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されずのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら設定してあるパスワードをリモコンの数字ボタンを使って入力します。

操作

[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。

正しいパスワードを入力し終わると投写が開始されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「**プロジェクターの動作を停止します。**」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード: xxxxx」の番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。👉『[お問い合わせ先](#)』
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「**プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。**」👉『[お問い合わせ先](#)』

ボタン操作を制限する

本機には、次の2種類の操作制限機能が装備されています。

- 操作ボタンロック
イベントやショーなどで投写中に本機を操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利な機能です。
- レンズ操作ロック
本機を設置後に誤って操作することがないように、リモコンのレンズ操作用のボタンを操作できなくする機能です。

操作ボタンロックの設定

次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。操作ボタンロックを行ってもリモコンからは通常どおりに操作できます。

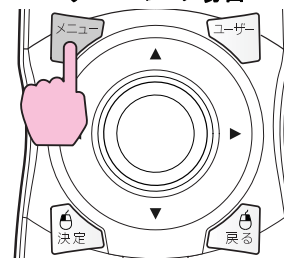
- 全ロック
操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
操作パネルの[⏻]ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

操作

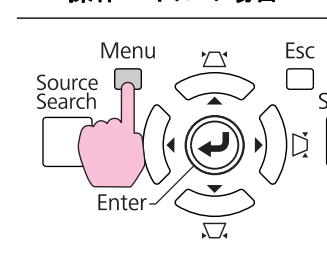
1

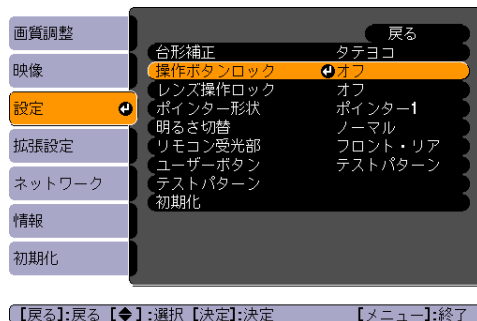
本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー - 「操作ボタンロック」を選びます。👉『[環境設定メニューの操作](#)』

リモコンの場合

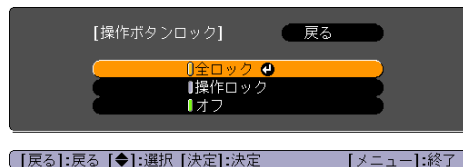


操作パネルの場合





- ② 目的に応じて、「全ロック」または「操作ロック」を選択します。



- ③ 確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。
設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。

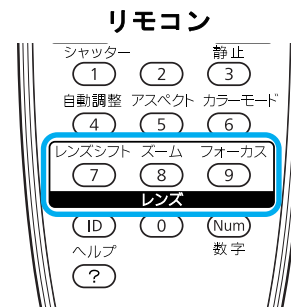


操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- ・リモコンを使って、環境設定メニューの**設定メニュー - 操作ボタンロック**を**オフ**に設定します。
- ・操作パネルの[Enter]ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

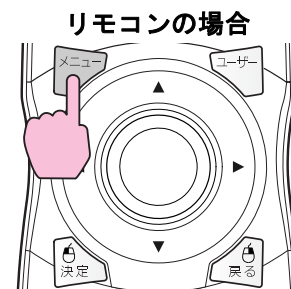
レンズ操作ロック

リモコンの以下のレンズ操作ボタンをロックできます。

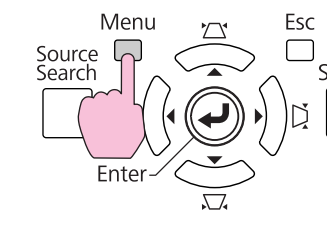


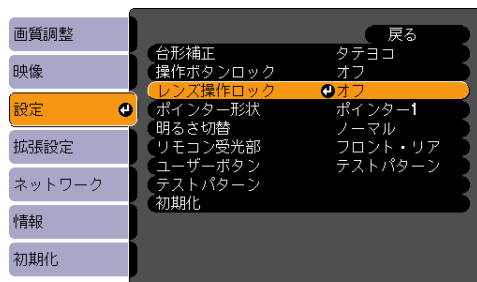
操作

- ① 本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから**設定メニュー - 「レンズ操作ロック」**を選びます。 ➡ **「環境設定メニューの操作」**



操作パネルの場合

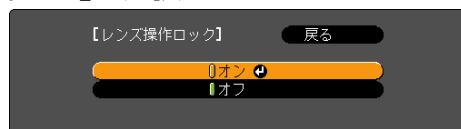




【戻る】:戻る 【◆】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

2

「オン」を選択します。



【戻る】:戻る 【◆】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

設定に従い、レンズ操作に関わるボタンがロックされます。

盗難防止用ロック

本機は無人になる部屋に天吊りなど固定設置されることが多いため、機器そのものを持ち出されないように次の機構があります。

• セキュリティスロット

Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。マイクロセーバーセキュリティシステムの詳細は、Kensingtonのホームページ <http://www.kensington.com/>でご確認ください。

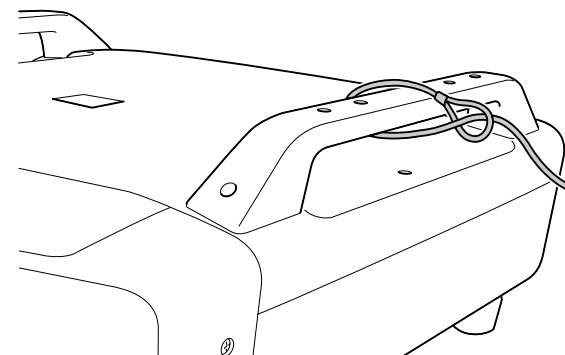
• ハンドル

市販の盗難防止用ワイヤロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤロックの取り付け方

ハンドルに盗難防止用ワイヤロックのワイヤを通します。

ワイヤロックの施錠方法は、ワイヤロックに添付の『取扱説明書』をご覧ください。




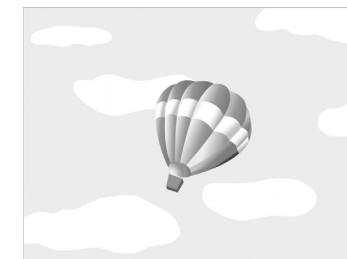


環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。



Menu / 



Menu / $x=$

Enter

決定

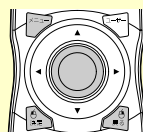
【オートアリス】 戻る

オン

オフ

【戻る】:戻る【↵】:選択【決定】:決定【メニュー】:終了

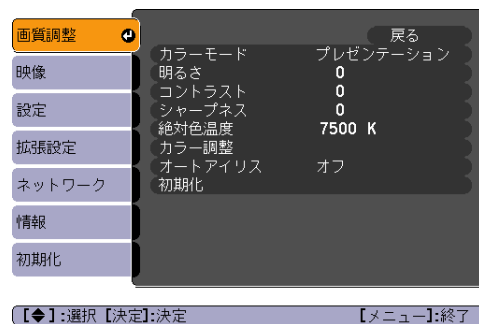
A diagram of the navigation pad and surrounding buttons. The navigation pad is a central circular button with four arrow keys (up, down, left, right) and a central button. Surrounding the pad are six buttons: Menu (top-left), Esc (top-right), Shutter (right), Enter (bottom), and two unlabeled buttons (bottom-left and top-right) that are part of the navigation pad's outer ring.



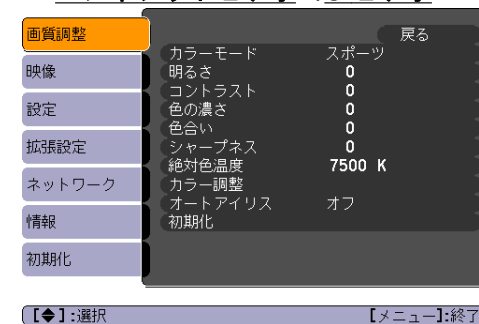
画質調整メニュー


現在投写している映像信号により、設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。



アナログRGB/デジタルRGB



アナログ/デジタルコンポーネントビデオ▶▶/ コンポジットビデオ▶▶/S-ビデオ▶▶






サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。  p.22
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト▶▶	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色合い	(コンポジットビデオ/S-ビデオの場合は、NTSC系の信号入力時のみ設定可能) 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。
絶対色温度	(画質調整メニューのカラーモードをsRGB▶▶に設定しているときは設定不可) 映像全体の色合いを調整します。5000K～10000Kの10段階で調整することができます。高い値を選択すると青みがかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。
カラー調整	(画質調整メニューのカラーモードをsRGB▶▶に設定しているときは設定不可) 以下のどちらかを選んで調整できます。 赤、緑、青：各色の強さを個別に調整します。 (画質調整メニューのカラーモードをカスタムに設定していると、本項目は表示されません。) R、G、B、C、M、Y：R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンダ)、Y(イエロー)ごとに色相、彩度、明度を調整します。 (画質調整メニューのカラーモードをカスタムに設定しているときだけ、本項目は表示されます。)




サブメニュー	機能
オートアイリス	(画質調整メニューのカラーモードをダイナミック、シアター、カスタムのいずれかに設定し、マルチスクリーンをオフに設定しているときのみ設定可能) 映像に合わせて最適な光量に調整する(オン)/しない(オフ)を設定します。  p.23 設定値はカラーモードごとに保存されます。
初期化	画質調整メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.66

映像メニュー

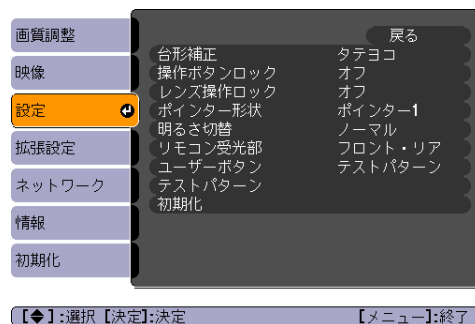
現在投写している映像信号により設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。








アナログRGB	デジタルRGB/ デジタルコンポーネントビデオ	アナログコンポーネントビデオ	コンボジットビデオ/S-ビデオ
<div> <div>画質調整</div> <div>戻る</div> <div>映像</div> <div>設定</div> <div>拡張設定</div> <div>ネットワーク</div> <div>情報</div> <div>初期化</div> </div> <div> <div>自動調整</div> <div>入力解像度</div> <div>トラッキング</div> <div>同期</div> <div>表示位置</div> <div>入力信号方式</div> <div>アスペクト</div> <div>初期化</div> </div> <div> <div>オン</div> <div>オート</div> <div>0</div> <div>0</div> <div>オート</div> <div>ノーマル</div> </div>	<div> <div>画質調整</div> <div>戻る</div> <div>映像</div> <div>設定</div> <div>拡張設定</div> <div>ネットワーク</div> <div>情報</div> <div>初期化</div> </div> <div> <div>プログレッシブ変換</div> <div>ノイズリダクション</div> <div>DVI/HDMIビデオレベル</div> <div>アスペクト</div> <div>オーバースキャン</div> <div>初期化</div> </div> <div> <div>フィルム/オート</div> <div>NR1</div> <div>通常</div> <div>オート</div> <div>オフ</div> </div>	<div> <div>画質調整</div> <div>戻る</div> <div>映像</div> <div>設定</div> <div>拡張設定</div> <div>ネットワーク</div> <div>情報</div> <div>初期化</div> </div> <div> <div>表示位置</div> <div>プログレッシブ変換</div> <div>ノイズリダクション</div> <div>入力信号方式</div> <div>アスペクト</div> <div>オーバースキャン</div> <div>初期化</div> </div> <div> <div>フィルム/オート</div> <div>NR1</div> <div>オート</div> <div>ノーマル</div> <div>8%</div> </div>	<div> <div>画質調整</div> <div>戻る</div> <div>映像</div> <div>設定</div> <div>拡張設定</div> <div>ネットワーク</div> <div>情報</div> <div>初期化</div> </div> <div> <div>表示位置</div> <div>プログレッシブ変換</div> <div>ノイズリダクション</div> <div>ビデオ信号方式</div> <div>アスペクト</div> <div>初期化</div> </div> <div> <div>フィルム/オート</div> <div>NR1</div> <div>オート</div> <div>ノーマル</div> </div>
【◆】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了	【◆】:選択 【メニュー】:終了	【◆】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了	【◆】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了


サブメニュー	機能
自動調整	入力信号が切り替わったときに、映像を最適な状態に自動調整する(オン)/しない(オフ)を設定します。  p.76 入力解像度をカスタム1またはカスタム2に設定しているときは自動調整は行われません。
入力解像度	オート：入力信号の解像度を自動で判別します。 ワイド、ノーマル：オートに設定していて投写映像が欠けるときに設定します。接続しているコンピューターに応じて、ワイド画面はワイドに、4:3や5:4画面はノーマルに設定します。 マニュアル：特定の入力解像度に設定できます。接続するコンピューターが固定のときに適しています。
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。  p.76
同期	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。  p.76

サブメニュー	機能
表示位置	映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。
プログレッシブ変換	(コンポーネントビデオ入力時は、480i/576i/1080i信号時のみ設定可能。デジタルRGB信号入力時は設定不可) オフ ：IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。 ビデオ ：一般のビデオ映像に適しています。 フィルム/オート ：2-3プルダウンを行うことにより、映画フィルムやCG、アニメーション映像などの24/30フレームで記録された映像を最適なプログレッシブ信号に自動変換することで、映像が本来持っている自然な質感を再現します。
ノイズリダクション	(デジタルRGB信号入力時は設定不可) 映像のざらつきを抑えます。モードを2つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは オフ に設定してご覧ください。
DVI/HDMIビデオレベル	(デジタルRGB信号入力時は設定不可) 本機のDVI-D入力端子、またはHDMI入力端子とDVDプレーヤーなどを接続しているときに、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。
入力信号方式	Computer入力端子、またはBNC入力端子からの入力信号を選択します。 オート にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を判別します。 オート に設定していて色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
ビデオ信号方式	Video入力端子からの入力信号を選択します。 オート にすると、ビデオ信号を自動認識します。 オート に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
アスペクト	映像の アスペクト比  を設定します。  p.24
オーバースキャン	(デジタルRGB信号入力時は設定不可) 出画率(投写する映像の範囲)を変更します。トリミングする範囲の設定を、オフ、4%、8%のいずれかに変更できます。入力ソースがHDMIのときは オート が選択できるようになります。 オート を選択すると入力信号に応じて自動的にオフあるいは 8% に切り替わります。ただし、接続機器のHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続しているときに限ります。
初期化	映像メニューのうち、入力信号方式を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.66

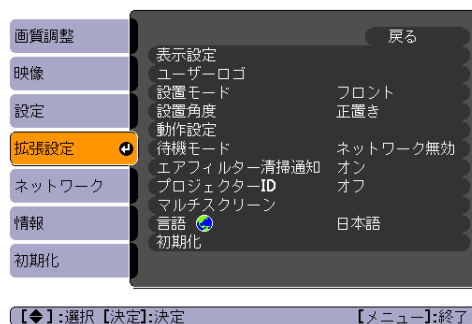
設定メニュー









サブメニュー	機能
台形補正	<p>台形にゆがんだ画面を補正します。</p> <p>タテヨコ：縦・横方向のゆがみ補正を行います。タテ補正、ヨコ補正から選択します。</p> <p>タテ補正、ヨコ補正は操作パネルの[▽/▲][□/▼][⬅/➡][↶/↷]ボタンで補正するのと同様の補正ができます。</p> <p>Quick Corner：投写映像の4つの角を選んで補正します。  p.18</p>
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。  p.38
レンズ操作ロック	リモコンのレンズ操作に関わるボタンの操作制限を設定します。  p.39
ポインター形状	<p>ポインターの形状を選択します。  p.29</p> <p>ポインター1：  ポインター2：  ポインター3： </p>
明るさ切替	<p>ランプの明るさをノーマル、エコの2段階で切り替えることができます。</p> <p>暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときはエコに設定します。エコで使用すると、投写中の消費電力、ランプ寿命が次のように変わり、ファン回転音も低下します。消費電力：約16%減、ランプ寿命：約1.4倍</p>
リモコン受光部	<p>リモコンからの操作信号の受信を制限します。</p> <p>リモコンでの操作を禁止したいときやリモコン受光部の近くに蛍光灯が設置されていて、その影響でリモコンが誤動作してしまうときに影響を受けている受光部を使わないように設定できます。</p>
ユーザーボタン	<p>リモコンの[ユーザー]ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。[ユーザー]ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。[ユーザー]ボタンに割り当てることができるのは以下の項目です。</p> <p>明るさ切替、情報、プログレッシブ変換、テストパターン、マルチスクリーン、入力解像度</p>

サブメニュー	機能
テストパターン	本機を設置する際に、機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。テストパターン表示中はズーム調整、フォーカス調整、レンズシフト調整、台形補正が行えます。 テストパターンの表示を解除するときは、リモコンの[戻る]ボタンまたは操作パネルの[Esc]ボタンを押します。
初期化	設定メニューのうちユーザーボタンを除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.66


拡張設定メニュー



サブメニュー	機能
表示設定	本機の表示に関する設定を行います。 メッセージ表示 ：オフに設定すると、次の表示がされなくなります。 入力ソースやカラーモード、アスペクトの切り替えと静止実行時の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告など警告表示。 背景表示 ※1：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を黒、青、ロゴのいずれかで設定します。 スタートアップスクリーン ※1：スタートアップスクリーン(投写開始時に登録されているユーザーロゴを表示する機能)を起動時に表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。 メニューサイズ (EB-Z8000WUのみ)：環境設定メニューやヘルプ、その他のメッセージ表示のサイズを標準/拡大からお好みで選択できます。
ユーザーロゴ※1	背景表示、スタートアップスクリーン表示時に表示するユーザーロゴを変更します。  p.95
設置モード	本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。  p.83 フロント、フロント・上下反転、リア、リア・上下反転


サブメニュー	機能
設置角度	<p>本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。  p.83</p> <p>正置き、上向き、下向き</p>
動作設定	<p>ダイレクトパワーオン：ダイレクトパワーオンさせる(オン)/させない(オフ)を設定します。 オンに設定しているときは、停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。</p> <p>スリープモード：オンに設定すると、映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときに自動で電源を切ります。</p> <p>スリープモード時間：スリープモードをオンにしたときに自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲を1分単位で設定します。</p> <p>シャッタータイマー：オンに設定すると電動シャッターを閉めてから約120分後に自動で電源を切ります。お買い上げ時にはシャッタータイマーはオンになっています。(シャッタータイマーとスリープモードを両方オンに設定した場合は、スリープモードが優先されます。)</p> <p>高地モード：標高約1500m以上でお使いの場合はオンにします。</p> <p>BNC同期終端：BNC入力端子からの信号の終端処理を設定します。通常はオフで使用します。スイッチャーなど、アナログ(75Ω) 終端が必要なときはオンに設定します。</p> <p>リモコン種類：本機を操作するリモコンの種類を標準/簡単から選択できます。 本製品に同梱のリモコンで操作するときは標準に設定します。簡単に切り替えると、他のエプソンプロジェクター(EB-G5350/G5200W/G5100を除く)に添付のリモコンで本機を操作できます。これまで使い慣れているリモコンを共用したいときに便利です。 ただし、簡単に切り替えた以降は本製品に同梱のリモコンで操作することができなくなります。本機を天吊り設置しているときなどは標準に戻す操作が困難なこともありますので、よくご確認いただいてから切り替えてください。</p>
待機モード	<p>本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク経由で本機の状態を監視・制御する機能を働かせるときは、ネットワーク有効に設定します。</p> <p>ネットワーク経由で本機の状態を監視・制御するにはSNMPを使うか、あるいは本製品に添付のアプリケーションソフト「EasyMP Monitor」を使用して行います。</p>
エアフィルター清掃通知	<p>エアフィルターの清掃通知をする(オン)/しない(オフ)を設定します。オンに設定していると、エアフィルターの詰まりを感知した場合にメッセージを表示します。</p>
プロジェクターID	<p>1～9までのIDを設定します。オフはIDを設定していない状態です。  p.32</p>
マルチスクリーン	<p>オンに設定すると、以下のプロジェクター複数台を並べて投写した際の各映像の色合いや明るさの差を補正できます。  p.34</p> <p>調整レベル：黒から白を5段階に区分し各段階をレベル1～5と呼び、この5レベルすべてに対して明るさ補正と色補正を行います。</p> <p>明るさ補正：製品ごとの明るさのばらつきを補正します。</p> <p>色補正(緑-赤)/色補正(青-黄)：製品ごとの色のばらつきを補正します。</p> <p>オートアイリスをオンに設定していても、マルチスクリーンをオンに設定するとオートアイリスは動きません。</p>
言語	<p>メッセージやメニューに表示する言語を設定します。</p>

サブメニュー	機能
初期化	拡張設定メニューのうち、表示設定※1、動作設定※2、エアフィルター清掃通知の調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.66



※1パスワードプロテクトの**ユーザーロゴ保護をオン**にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。**ユーザーロゴ保護をオフ**にしてから設定を変更してください。  [p.36](#)


※2高地モードとリモコン種類は除く。


ネットワークメニュー (EB-Z8000WUのみ)

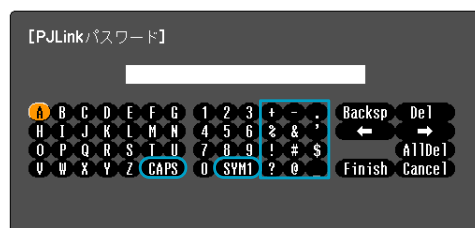
パスワードプロテクトでネットワーク保護をオンに設定していると、メッセージが表示され設定を変更することはできません。ネットワーク保護をオフにしてから操作してください。  [p.36](#)



サブメニュー	機能
有線LAN	<p>ネットワークの設定を行います。</p> <p>DHCP：DHCPを使用する(オン)/しない(オフ)を設定します。 ここでオンに設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p> <p>IPアドレス：本機に割り当てるIPアドレスを入力します。※1 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、0.x.x.x、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)</p> <p>サブネットマスク：本機のサブネットマスクを入力します。※1 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255</p> <p>ゲートウェイアドレス：本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。※1 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)</p> <p>MACアドレス：本機のMACアドレスを表示します。</p>
PJLinkパスワード	<p>PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを入力します。※1  p.111</p> <p>半角英数字で最大32文字まで入力できます。</p>
Web制御パスワード	<p>Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを入力します。※1 半角英数字で最大8文字まで入力できます。</p> <p>Web制御は、EasyMP Monitorを起動しているコンピューターのWebブラウザを利用して、コンピューターから本機を設定・制御する機能です。  『EasyMP Monitor操作ガイド』</p>
SNMP	<p>SNMP の設定を行います。</p> <p>トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2：SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。※1</p> <p>SNMPを使ってプロジェクターを監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワークに詳しい人が行ってください。</p>

サブメニュー	機能
メール	<p>本機が異常/警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。送付されるメールの内容については「異常通知メールの見方」p.108</p> <p>メール通知機能：メール通知を行う(オン)/行わない(オフ)を選択します。ここでオフに設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p> <p>SMTPサーバー：本機が使うSMTPサーバーのIPアドレスを入力します。※1 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字) ポート番号：SMTPサーバーのポート番号を表示します。 初期値は25です。Web制御から設定変更しているときは、ポート番号を1～65535までの有効な数値を入力して変更できます。</p> <p>宛先1設定/宛先2設定/宛先3設定：通知メールの送信先のメールアドレスの入力※1と通知する異常/警告の内容を設定します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大64文字まで入力できます。</p>
AMX Device Discovery	<p>本機をネットワークに接続しているとき、AMX Device Discoveryによる本機の検出を有効にしたいときはオンに設定します。AMX社のコントローラやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、オフに設定してください。</p>
プロジェクト名	<p>ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示しています。</p>
初期化	<p>ネットワークメニューのすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.66</p>


※ 数値やパスワード入力の際は次のようなソフトキーボードが表示されます。リモコンの[>]ボタンを傾けて目的のキーにカーソルを移動し、[決定]ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの[Finish]キーを選択すると入力が確定します。キーボードの[Cancel]キーを選択すると入力は取り消されます。




【戻る】:戻る 【】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

[CAPS] キーを選択し決定するたびにアルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。[SYM1/2]キーを選択し決定するたびに枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。



【戻る】:戻る 【】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了


ネットワークメニュー (EB-Z8050Wのみ)

パスワードプロテクトでネットワーク保護をオンに設定していると、メッセージが表示され設定を変更することはできません。ネットワーク保護をオフにしてから操作してください。  [p.36](#)



サブメニュー	機能
ネットワーク設定画面へ	以下の項目についてネットワークの設定を行います。 基本設定メニュー、無線LANメニュー、セキュリティーメニュー、有線LANメニュー、メールメニュー、その他メニュー、初期化メニュー、設定完了メニュー

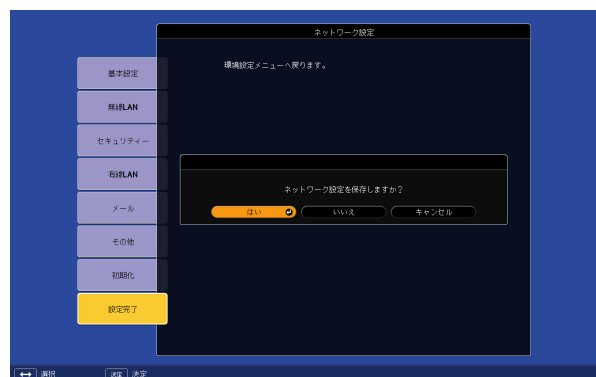


本機とネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザを利用して、コンピューターから本機の設定や制御が行えます。この機能を「Web制御」と呼びます。「Web制御」はキーボードを使って設定内容を入力できるので、セキュリティーの設定など文字の入力を伴う設定も容易に行えます。  『[プロジェクト活用ガイド](#)』「[Webブラウザを使って設定を変更する\(Web制御\)](#)」

ネットワークメニュー操作上のご注意






トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了する際には必ず**設定完了**メニューを選択して、**はい**、**いいえ**、**キャンセル**のいずれかを選択します。**はい**あるいは**いいえ**を選択すると、環境設定メニューに戻ります。



- はい：** 設定を保存してネットワークメニューを終了します。
- いいえ：** 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。
- キャンセル：** ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

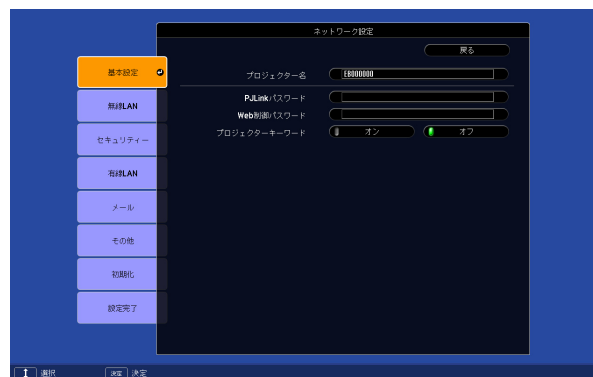
ネットワークメニューでは英数字を入力して設定する項目があります。その際には以下のようなソフトキーボードが表示されます。リモコンの[]ボタンまたは本体の[/▲]、[/▼]、[/◀]、[/▶]、で目的のキーにカーソルを移動し、[決定]ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの[Finish]を選択すると入力が確定します。キーボードの[Cancel]を選択すると入力は取り消されます。



このキーを選択し決定するたびに
アルファベットキーの
大文字/小文字が切り替わります。

このキーを選択し決定するたびに
枠で囲った部分の記号キーが
切り替わります。

基本設定メニュー



サブメニュー	機能
プロジェクター名	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示しています。 変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。
PJLinkパスワード	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。👁️ p.111 半角英数字で最大32文字まで入力できます。
Web制御パスワード	Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます。Web制御はネットワークで接続しているコンピュータのWebブラウザを利用して、コンピュータから本機を設定・制御する機能です。👁️ 『プロジェクター活用ガイド』「Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)」

サブメニュー	機能
プロジェクターキーワード	<p>オンに設定していると、本機とコンピューターをネットワークで接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。これにより予定外のコンピューターからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。</p> <p>通常はオンに設定してお使いください。👉『プロジェクター活用ガイド』『ネットワーク上のプロジェクターに接続して投写する』</p>

無線LANメニュー (オプション品の無線LANユニット装着時のみ)



サブメニュー	機能
無線LAN電源	本機に接続している無線LANユニットを無効にするときは オフ に設定します。 オフ に設定すると、わざわざ無線LANユニットを取り外さなくても取り外したのと同様の状態にできます。
接続モード	EasyMP Network Projectionで本機とコンピューターを接続するときに、いつも決まった接続モードで接続する場合に設定します。
Wi-Fi Protected Setup	WPS(Wi-Fi Protected Setup)対応の無線LANアクセスポイントを経由してネットワークに参加するとき、本機とアクセスポイント間の接続とセキュリティの設定を簡単に行うことができます。👉 p.97
アンテナレベル	無線LANの電波強度を表示しています。
無線LAN方式	無線LAN方式を設定します。
SSID	SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。半角英数字で最大32文字まで入力できます。
DHCP	<p><u>DHCP</u>▶を使用する(オン)/しない(オフ)を設定します</p> <p>ここでオンに設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p>

サブメニュー	機能
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレス▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
サブネットマスク	本機のサブネットマスク▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス▶は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
MACアドレス	MACアドレスを表示しています。
SSID表示	LAN待機画面上にSSIDを表示させないときは、 オフ に設定します。
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、 オフ に設定します。

セキュリティーメニュー（オプション品の無線LANユニット装着時に有効）

オプション品の無線LANユニットを装着してマニュアルモードでお使いの際は、必ずセキュリティーの設定を行うことをお奨めします。



サブメニュー	機能
セキュリティー	<p>以下の項目から、設定するセキュリティーの種類を1つ選択します。 セキュリティーの設定は、参加するネットワークシステムの管理者の指示に従ってください。</p> <p>WEP：暗号キー(WEPキー)を使ってデータの暗号化を行います。 アクセスポイントとプロジェクター間で、暗号キーが一致しないと通信できない仕組みです。</p> <p>WPA/WPA2：WEPの弱点を補強しセキュリティー強度を向上させた暗号化規格です。WPAには数種類の暗号化方式がありますが、本機では「TKIP」と「AES」を使用します。 また、WPAは、ユーザー認証機能も備えています。WPAの認証方式には、認証サーバーを使う方法と、認証サーバーは使わずコンピュータとアクセスポイントの間で認証を行う方法があります。本機は、認証サーバーを使わない認証方法に対応しています。</p> <p>EAP：EAPは、クライアント-認証サーバー間のやりとりに用いられるプロトコルです。ユーザー認証に電子証明書を用いるEAP-TLS、ユーザー名とパスワードを用いるLEAP、EAP-TTLSなどがあります。</p>

セキュリティーの種類

方式	認証
EAP-TLS	電子証明書、CA証明書
EAP-TTLS/MD5	ユーザー名、パスワード
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	ユーザー名、パスワード

方式	認証
PEAP/MS-CHAPv2	ユーザー名、パスワード
PEAP/EAP-GTC	ユーザー名、パスワード
LEAP	ユーザー名、パスワード
EAP-Fast/MS-CHAPv2	ユーザー名、パスワード
EAP-Fast/GTC	ユーザー名、パスワード



- EAPを使用する場合、認証サーバーに合わせた設定をプロジェクターで行う必要があります。RADIUSサーバーの設定については、ネットワークシステムの管理者にご確認ください。
- 電子証明書、CA証明書をプロジェクターに登録するにはWeb制御のネットワークメニュー - 証明書で行います。プロジェクターに登録できる電子証明書およびCA証明書は1つだけです。この証明書はEAP-TLSで使用します。

WEP選択時

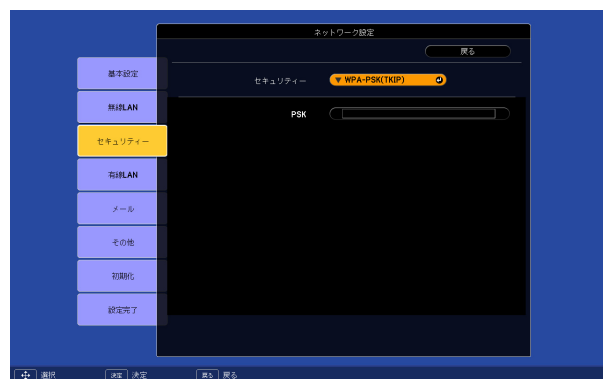


以下の項目が設定できます。

サブメニュー	機能
WEP暗号	<p>WEP暗号化の暗号方式を設定します。</p> <p>128bit：128(104)bit暗号化を使用します。</p> <p>64bit：64(40)bit暗号化を使用します。</p>

サブメニュー	機能
入力方式	WEP暗号キーの入力方式を設定します。 ASCII ：テキストで入力します。 HEX ：HEX(16進)で入力します。
キーID	WEP暗号IDキーを選択します。
暗号キー1/暗号キー2/暗号キー3/暗号キー4	WEP暗号に使用するキーを入力します。プロジェクターが参加するネットワークの管理者の指示に従って、キーを半角文字で入力します。 WEP暗号 と 入力方式 の設定により、入力できる文字種・数が異なります。 下記でそれぞれ規制している文字数に満たなかったとき、あるいは文字数を超える部分は暗号化されません。 128bit-ASCII の場合：半角英数字、13文字 64bit-ASCII の場合：半角英数字、5文字 128bit-HEX の場合：0～9とA～F、26文字 64bit-HEX の場合：0～9とA～F、10文字
認証方式	WEP暗号化の認証方式を設定します。 Open ：アクセスポイントに接続する際に特に認証を行わずに接続する方式です。 Shared ：WEPキーを利用した認証方式です。

WPA-PSK(TKIP)、WPA2-PSK(AES)選択時



以下の項目が設定できます。

サブメニュー	機能
PSK(暗号キー)	PreSharedKey(暗号キー)を半角英数字で入力します。8文字以上、最大63文字まで入力できます。PreSharedKeyを入力し、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンで確定すると、設定値はアスタリスク(*)で表示されます。 環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 ☛『プロジェクト活用ガイド』『Webブラウザーを使って設定を変更する(Web制御)』

EAP-TLS選択時

以下の項目が設定できます。

サブメニュー	機能
発行先/発行者/有効期間	証明書の情報が表示されます。入力是不可能。

EAP-TTLS/MD5、EAP-TTLS/MS-CHAPv2、PEAP/MS-CHAPv2、PEAP/GTC、LEAP、EAP-Fast/MS-CHAPv2、EAP-FAST/GTC選択時

以下の項目が設定できます。


サブメニュー	機能
ユーザー名	認証に使用するユーザー名を半角英数字で入力します(スペースは使用できません)。最大64文字まで入力できます。 環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 ☛『プロジェクト活用ガイド』『Webブラウザーを使って設定を変更する(Web制御)』
パスワード	認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。最大64文字まで入力できます。パスワードを入力し、[決定]ボタンまたは[Enter]ボタンで確定すると、パスワードはアスタリスク(*)で表示されます。 環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 ☛『プロジェクト活用ガイド』『Webブラウザーを使って設定を変更する(Web制御)』

有線LANメニュー



サブメニュー	機能
DHCP	DHCP▶を使用する(オン)/しない(オフ)を設定します。 ここでオンに設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレス▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
サブネットマスク	本機のサブネットマスク▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス▶は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
MACアドレス	MACアドレスを表示しています。
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、オフに設定します。

メールメニュー

プロジェクターが異常／警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。送付されるメールの内容については「付録 異常通知メールの見方」 p.108



サブメニュー	機能
メール通知機能	メール通知を行う(オン)/行わない(オフ)を選択します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレス▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
メールアドレス1/メールアドレス2/メールアドレス3	通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大64文字まで入力できます。環境設定メニューでは32文字を超える入力はできません。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。
通知イベントの指定	メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、メールアドレスで指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。

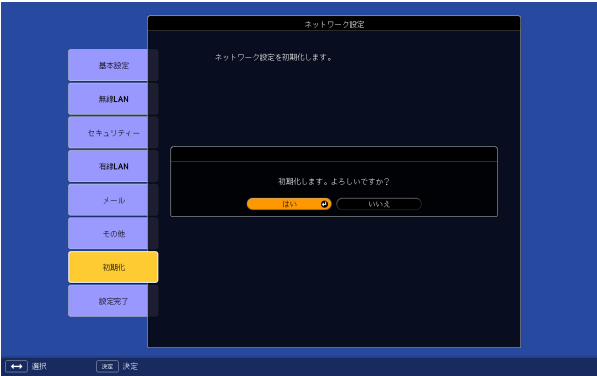
その他メニュー



サブメニュー	機能
トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2	<p>SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)</p> <p>SNMPを使ってプロジェクターを監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。</p>
優先ゲートウェイ	優先ゲートウェイを 無線LAN / 有線LAN のどちらにするか選択します。
AMX Device Discovery	本機をネットワークに接続しているとき、 AMX Device Discovery による本機の検出を有効にしたいときは オン に設定します。AMX社のコントローラやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、 オフ に設定してください。

初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化します。

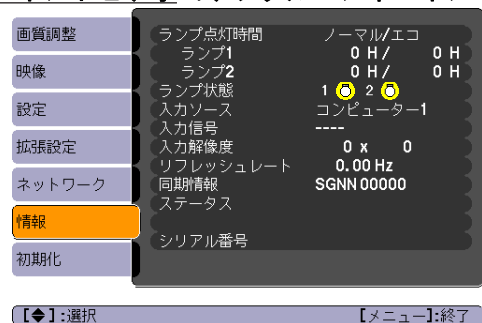


サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときはいを選択します。 初期化した後は、基本設定メニューに移行します。

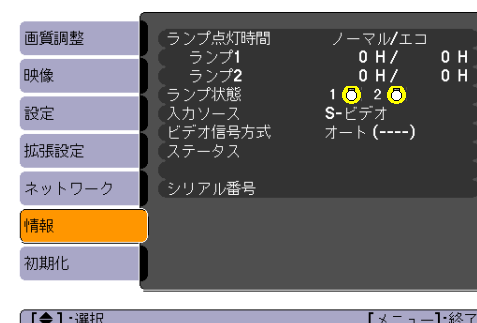
情報メニュー (表示のみ)





投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している映像信号により表示される項目が以下の画面図のとおり異なります。

アナログRGB/デジタルRGB/ コンポーネントビデオ▶/デジタルコンポーネントビデオ



コンジットビデオ▶/S-ビデオ▶

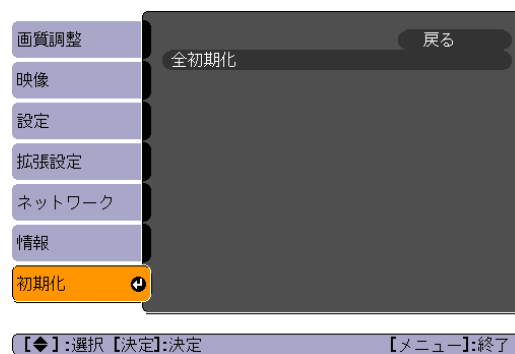


サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	各ランプの累積使用時間※を表示しています。 ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色に変わります。
ランプ状態	各ランプの状態を次のようにアイコンで表示しています。  : 点灯中  : 使用不可  が表示されているときはランプになんらかの異常が発生しています。「インジケータの見方」のランプ異常の箇所をご覧ください。  p.69
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
入力信号	映像メニューの入力信号方式の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
ビデオ信号方式	映像メニューのビデオ信号方式の設定内容を表示しています。
リフレッシュレート	リフレッシュレート▶を表示しています。
同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。

サブメニュー	機能
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 入力信号方式、ユーザーロゴ、マルチスクリーン、ネットワークメニューの全項目、ランプ点灯時間、言語は初期値に戻りません。



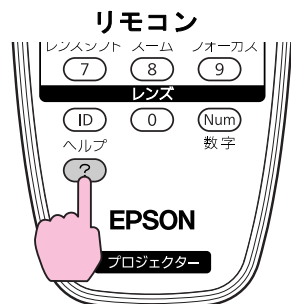
困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

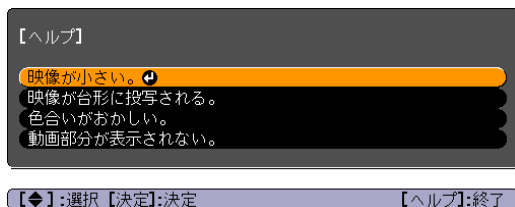
トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

操作

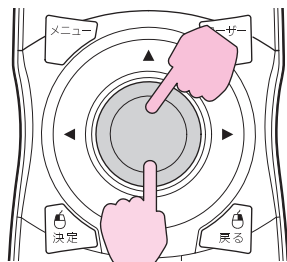
- 1 [ヘルプ]ボタンを押します。
ヘルプ画面が表示されます。



- 2 項目を選択します。

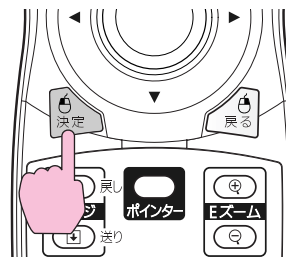


リモコン

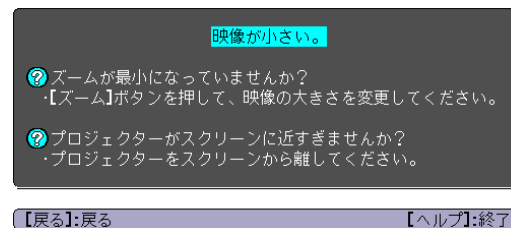


- 3 項目を決定します。


リモコン



以下の画面のように質問と対処法が表示されます。
[ヘルプ]ボタンを押すとヘルプは解除されます。

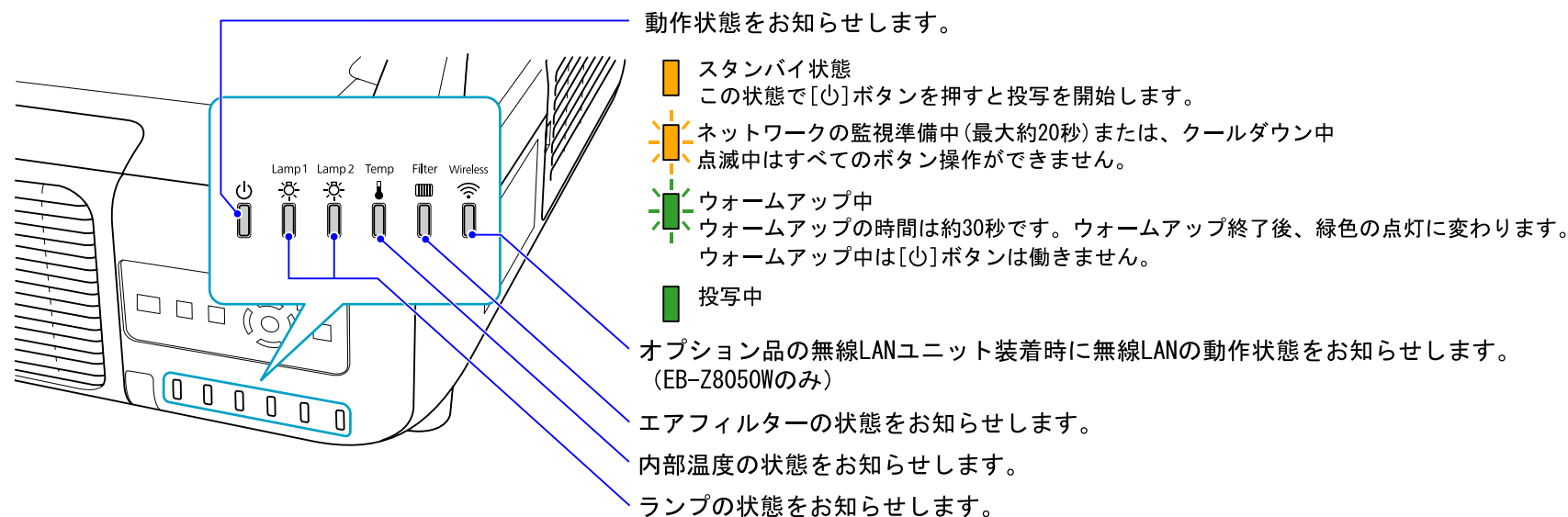


ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」
p.69をご覧ください。

故障かな？と思ったら、まず本機のインジケーターをご覧になり下記の「インジケーターの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケーターをご覧になってもわからないときは、「インジケーターを見てもわからないとき」を確認してください。  [p.73](#)

インジケーターの見方

次の各インジケーターが本機の状態をお知らせします。




インジケーターの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。









































インジケーターがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。
電源ケーブルを抜いてもインジケーターがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません。





















④ インジケーターが赤色点灯/点滅時

■：点灯

：点滅































□：消灯































状態	原因	処置または状態
         	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』
         	ファン異常 センサー異常 冷却システム異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』
         	内部高温異常 (オーバーヒート)	<p>ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。☛ p.84,p.90 <p>上記を確認後もエラーになるときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、高地モードをオンにしてください。☛ p.47</p> <p>本機を真下、あるいは真上に向けて投写しているときは、設置角度を下向き、上向きに設定してください。☛ p.47</p>
         	ランプ異常 ランプ点灯失敗	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプを両方とも取り出してランプが割れていないか確認します。☛ p.88 エアフィルターを掃除します。☛ p.84 <p>割れていないとき：ランプを再セットして、電源を入れます。</p> <p>それでもエラーになるとき：新しいランプに交換してから電源を入れます。</p> <p>それでもエラーになるとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』</p> <p>割れているとき：お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。☛ 『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、高地モードをオンにしてください。☛ p.47</p> <p>本機を真下、あるいは真上に向けて投写しているときは、設置角度を下向き、上向きに設定してください。☛ p.47</p>

状態	原因	処置または状態
         	エアフィルター風量低下異常	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。☞ p.84, p.90 <p>上記を確認後もエラーになるときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☞ 『お問い合わせ先』</p>
         	オートアイリス異常 シネマフィルター異常 シャッター異常 電源系異常(バラスト)	<p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☞ 『お問い合わせ先』</p>

☞ ⚠ 📊インジケータが点滅/点灯時

 : 点灯
  : 点滅
  : 消灯
  : 本機の状態により異なる場合

状態	原因	処置または状態
         	高温警告	<p>(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。☞ p.84, p.90
         	ランプ交換勧告	<p>Lamp1/2インジケータの点滅している方のランプが寿命に達しました。新しいランプに交換してください。☞ p.88</p> <p>交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。</p> <p>なお、均一な色合いや明るさで映像を投写するために、ランプは2個同時に交換することをお勧めします。</p>
         	ランプ消灯警告 電源系警告(バラスト)	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> Lamp1/2インジケータの点滅している方のランプを取り出してランプが割れていないか確認します。☞ p.88 エアフィルターを掃除します。☞ p.84 <p>割れていないとき : ランプを再セットして、電源を入れます。</p> <p>それでもエラーになるとき : 新しいランプに交換してから電源を入れます。</p> <p>それでもエラーになるとき : ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☞ 『お問い合わせ先』</p>

状態	原因	処置または状態
		<p>割れているとき：お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください(1灯投写の状態です。なるべく早くランプを交換してください。)。☞『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、高地モードをオンにしてください。☞ p.47</p> <p>本機を真下、あるいは真上に向けて投写しているときは、設置角度を下向き、上向きに設定してください。☞ p.47</p>
         	エアフィルター未装着 エアフィルターセンサー故障	<p>エアフィルターが確実に取り付けられているか確認してください。☞ p.90</p> <p>本機はエアフィルター未装着を検出後、約1分が経過すると自動的に電源がオフになります。</p> <p>エアフィルターを取り付けてもエラーになるときは、エアフィルターセンサーが故障しています。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☞『お問い合わせ先』</p>
         	エアフィルター風量低下	<p>(異常ではありません。ただし、さらに風量低下の状態になると投写を自動停止します。)</p> <p>「エアフィルターが目詰まりしています。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」とメッセージも表示されます。以下の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。☞ p.84, p.90 <p>エアフィルターを掃除しても頻繁にエアフィルター風力低下の状態になるときは新しいエアフィルターに交換してください。☞ p.90</p> <p>上記を確認後もエラーになるときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☞『お問い合わせ先』</p>
         	エアフィルター清掃通知	<p>「エアフィルターの清掃時期です。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」とメッセージも表示されます。エアフィルターの掃除をしてください。☞ p.84</p> <p>エアフィルターがタバコのヤニなどで茶色く変色しているときは掃除をしてもきれいになりませんので、新しいエアフィルターに交換してください。</p> <p>エアフィルター清掃通知のインジケータやメッセージは、環境設定メニューの拡張設定メニュー - エアフィルター清掃通知をオンに設定しているときに限り表示されます。☞ p.47</p>













- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。☞ p.73
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。☞『お問い合わせ先』

インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。





映像に関するトラブル

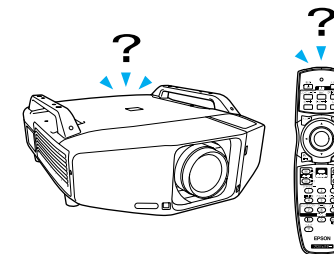
- 「映像が表示されない」  p.74
投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 「動画が表示されない」  p.74
コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない。
- 「自動的に投写が消える」  p.74
- 「[この信号は本プロジェクターでは受けられません。] と表示される」  p.75
- 「[映像信号が入力されていません。] と表示される」  p.75
- 「ぼやける、ピントが合わない」  p.76
- 「ノイズが入る、乱れる」  p.76
ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- 「映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない」  p.76
映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくないなど...
- 「色合いが違う」  p.77
全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど... (コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 「暗い」  p.78

投写開始時のトラブル

- 「電源が入らない」  p.78

その他のトラブル

- 「リモコンで操作できない」  p.80
- 「外部モニターに表示されない」  p.80
- 「メッセージやメニューの言語を変更したい」  p.81
- 「プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない」  p.81



映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
[⏻]ボタンを押しましたか？	[⏻]ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。 本機に電源ケーブルを正しく接続してください。🔊『 セットアップガイド(EB-Z8050W) 』,『 セットアップガイド(EB-Z8000WU) 』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
シャッターが実行されていませんか？	リモコンの[シャッター]ボタンを押してシャッターを解除します。🔊 p.23
環境設定メニューの設定で間違っているものはありますか？	全初期化してみてください。🔊 初期化メニュー - 全初期化 p.66
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ コンピューター投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。🔊 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.44

動画が表示されない

確認	対処法
コンピューター映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ	映像信号を外部のみの出力に切り替えます。🔊 コンピューターに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピューターのメーカーにお問い合わせください。

自動的に投写が消える

確認	対処法
スリープモードをオンにしていますか？	[⏻]ボタンを押して電源を入れます。スリープモードを働かせないときは設定を オフ にしてください。 🔊 拡張設定メニュー - 動作設定 - スリープモード p.47

確認	対処法
エアフィルターを取り付けていますか？	エアフィルターが確実に取り付けられているか確認してください。☞ p.90 本機はエアフィルター未装着を検出後、約1分が経過すると自動的に電源がオフになります。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☞ 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.44
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ コンピューター投写時のみ	コンピューターから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピューターの『取扱説明書』などでご確認ください。☞ 「対応解像度一覧」 p.112

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞ 『 セットアップガイド(EB-Z8050W) 』, 『 セットアップガイド(EB-Z8000WU) 』
接続した入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの[入力検出]ボタンまたは操作パネルの[Source Search]ボタンを押して映像を切り替えます。 ☞ p.20
接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。☞ コンピューターの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」など 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn(ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。☞ 『 セットアップガイド(EB-Z8050W) 』, 『 セットアップガイド(EB-Z8000WU) 』

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	リモコンの[フォーカス]ボタンでピントを合わせます。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』,『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。☞ p.101
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』,『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☞ 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.44
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞『セットアップガイド(EB-Z8050W)』,『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ コンピューター投写時のみ	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☞「対応解像度一覧」 p.112 ☞ コンピューターの『取扱説明書』など
「同期▶・トラッキング▶」は正しく調整されていますか？ コンピューター投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[Enter]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの同期、トラッキングで調整することもできます。☞ 映像メニュー - トラッキング、同期 p.44

映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない

確認	対処法
アスペクトは正しく設定されていますか？	リモコンの[アスペクト]ボタンを押して入力信号に合ったアスペクトを選択してください。☞ p.24

確認	対処法
ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ コンピューター投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - 入力解像度 p.44
Eズームで拡大したままになっていませんか？	リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛ p.30
表示位置は正しく調整されていますか？	コンピューター映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[Enter]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの 表示位置 で調整することもできます。 コンピューター映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの 表示位置 で調整します。☛ 映像メニュー - 表示位置 p.44
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピューター投写時のみ	接続しているコンピューターのコントロールパネルの「画面のプロパティ」でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。☛ コンピューターのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピューター投写時のみ	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.112 ☛ コンピューターの『取扱説明書』 など

色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 Computer、BNC入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ 映像メニュー - 入力信号方式 p.44 Video、S-Video入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.44
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの 明るさ を調整してください。☛ 画質調整メニュー - 明るさ p.43
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ 『セットアップガイド(EB-Z8050W)』 , 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの コントラスト を調整してください。☛ 画質調整メニュー - コントラスト p.43
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの カラー調整 を調整してください。☛ 画質調整メニュー - カラー調整 p.43
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの 色の濃さ、色合い を調整してください。☛ 画質調整メニュー - 色の濃さ、色合い p.43


暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの 明るさ や 明るさ切替 を設定してください。 ☛ 画質調整メニュー - 明るさ p.43 ☛ 設定メニュー - 明るさ切替 p.46
コントラスト は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの コントラスト を調整してください。 ☛ 画質調整メニュー - コントラスト p.43
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ☛ p.88

投写開始時のトラブル








電源が入らない

確認	対処法
[⏻]ボタンを押しましたか？	[⏻]ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、電気が供給されていません。 電源ケーブルを抜いて差し直してください。 ☛ 『セットアップガイド(EB-Z8050W)』 , 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください。 ☛ 『お問い合わせ先』
操作ボタンロックが 全ロック になっていませんか？	リモコンの[⏻]ボタンを押します。操作ボタンロックを働かせないときは設定を オフ にしてください。 ☛ 設定メニュー - 操作ボタンロック p.38
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの リモコン受光部 の設定を確認してください。 ☛ 設定メニュー - リモコン受光部 p.46
ダイレクトパワーオフをした直後に電源ケーブルのプラグを挿し直したかブレーカーをオンにしていますか？	ダイレクトパワーオンをオン に設定しているときに左記の操作をすると電源が入らないことがあります。 [⏻]ボタンを押すと電源が入ります。
リモコン側面のIDスイッチが On になっていませんか？	OnになっているとIDが一致するプロジェクターだけが操作対象になります。IDスイッチを Off にしてください。 ☛ p.31


確認	対処法
ランプカバーやランプは正しく装着されていますか？	本機は、ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。装着の状態を確認してください。  p.88

その他のトラブル


リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲  『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約15mです。  『セットアップガイド(EB-Z8050W)』, 『セットアップガイド(EB-Z8000WU)』
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。または、環境設定メニューの リモコン受光部 で光の影響を受けている方の受光部を オフ にしてください。  設定メニュー - リモコン受光部 p.46
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの リモコン受光部 の設定を確認してください。  設定メニュー - リモコン受光部 p.46
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。  p.87
リモコンIDはプロジェクターIDと一致していますか？	操作したいプロジェクターのIDとリモコンのIDを一致させてください。IDの設定に関わらずすべてのプロジェクターをリモコンで操作できるようにするには、リモコン側面のIDスイッチを Off にします。  p.31
リモコン種類 の設定と使用しているリモコンは一致していますか？	環境設定メニューの リモコン種類 の設定を確認してください。  拡張設定メニュー - 動作設定 - リモコン種類 p.47
リモコン、または本機のRemote端子にオプションのリモコンケーブルを接続していませんか？	リモコンケーブルが差し込まれているとリモコン発光部や本機のリモコン受光部が働かなくなります。リモコンケーブルセットを使用しないときは、リモコンケーブルをリモコンやRemote端子から取り外してください。




外部モニターに表示されない

確認	対処法
Computer入力端子、BNC入力端子以外から入力している映像を表示させようとしていませんか？	外部モニターに表示できる映像はComputer入力端子、BNC入力端子からのコンピューター映像信号のみです。  p.104

メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
言語の設定を変更します。	環境設定メニューの 言語 で目的の言語を選択してください。  拡張設定メニュー - 言語 p.47

プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない

確認	対処法
待機モードをネットワーク有効に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの 待機モード を ネットワーク有効 に設定します。  拡張設定メニュー - 待機モード p.47
致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか？	瞬時に起動停止したときはメール送信できません。 プロジェクターを確認しても異常状態が復帰しないときは、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
環境設定メニューでメールが正しく設定されていますか？	異常通知のメールは環境設定メニューの メール の設定に従って発信されます。正しく設定されているか確認してください。  ネットワークメニュー - メール p.49



付 録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

本機は、次の例のように天井に取り付ける天吊り設置や机の上に設置して投写できます。また、90°単位で水平、垂直方向に投写できますので多様な場所に自由に投写できます。

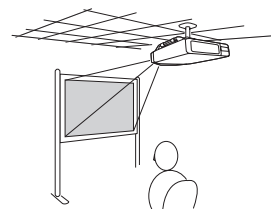
警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)や真上、真下に向けて投写する工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下・転倒によりけがや事故の原因となります。
お問い合わせ先
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 天吊り設置時は、必ずハンドル部分にワイヤを掛ける等の落下防止対策を行ってください。

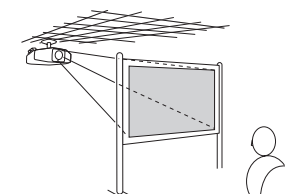
注意

- 本機を次の図で示す以外の角度に設置して投写しないでください。
- 天地逆さまにして底面を上に向けて投写することはできません。
- 設置する角度により環境設定メニューの設置角度を正しく設定してください。 [p.47](#)
- 決められた角度以外で設置をしたり、環境設定メニューの設定が正しくないと、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。

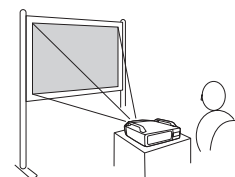
- 天吊りして正面から投写する



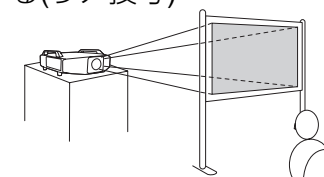
- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する



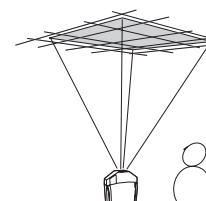
- 正面から投写する(フロント投写)



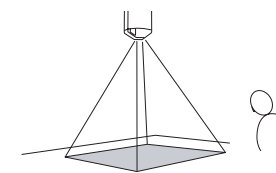
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



- 真上に投写する



- 真下に投写する



- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。 [p.93](#)
- 設置モードを変更するには環境設定メニューで行います。 [p.47](#)

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

警告

本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。
ケースが変質、変色することがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。


エアフィルターの掃除

下記のメッセージが表示されたり、Filterインジケーターが緑点減するときは、エアフィルターの掃除をしてください。

エアフィルターの清掃時期です。

エアフィルターの掃除、または交換をしてください。

注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターがタバコのヤニなどで茶色く変色しているときは、掃除をしてもエアフィルターはきれいになりません。この場合は新しいエアフィルターに交換してください。  p.90
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 掃除にブラシを使用するときは、毛先の長い柔らかいものを使用し、軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入ってしまう取れなくなります。

操作

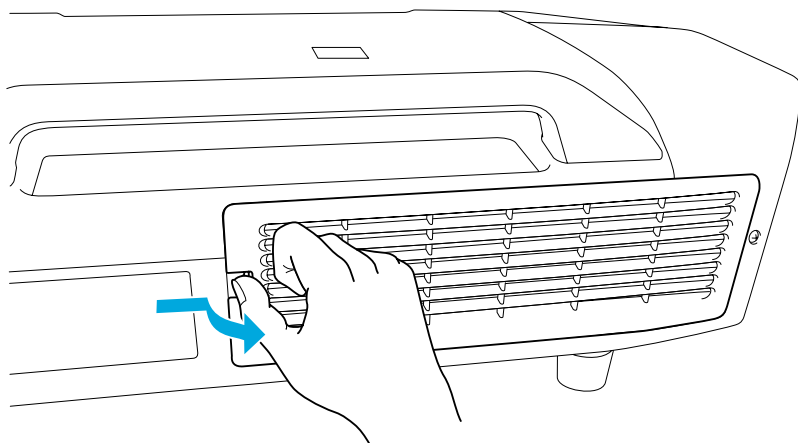
①

本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。

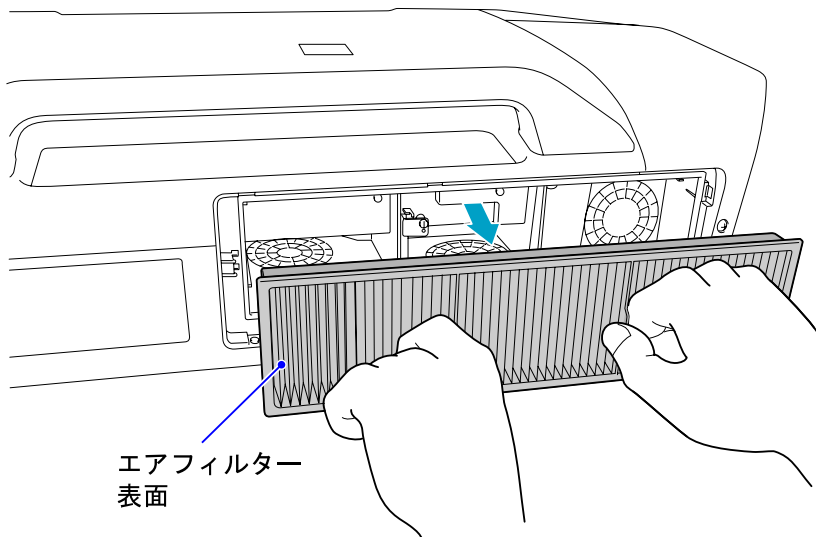
②

エアフィルターカバーを取り出します。

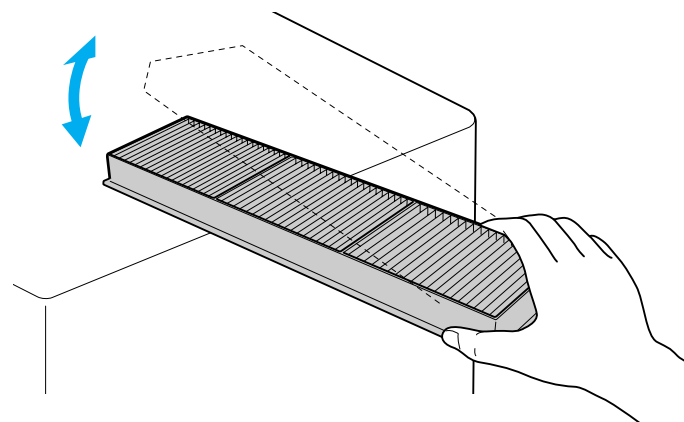
エアフィルターカバーのタブに指をかけ、タブを押したままカバーを起こして取り外します。



- ③ エアフィルターを取り出します。



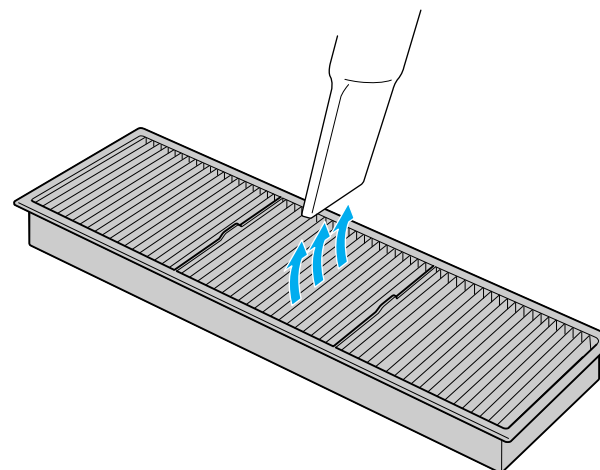
- ④ エアフィルターの表側(取り出し用のツマミのある面)を下にして、4～5回たたいてホコリを落とします。
持ち替えて手で持っていた方も同様にたたいてホコリを落とします。



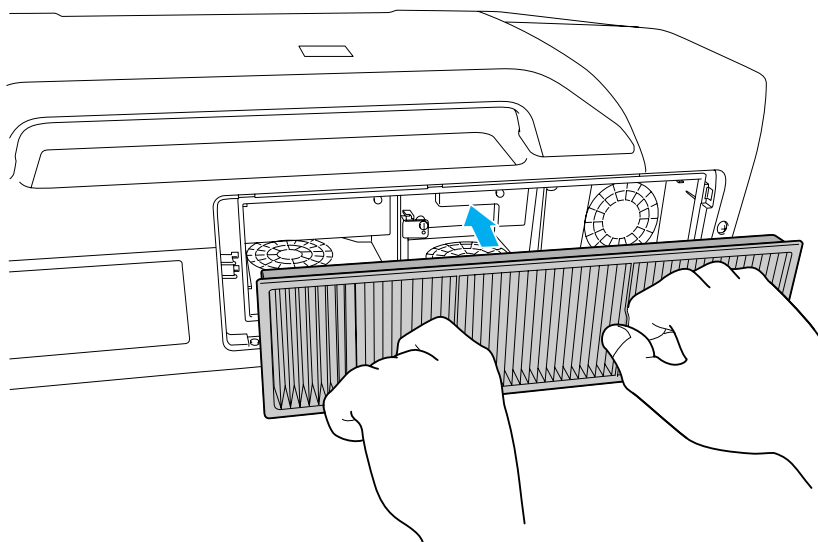
注意

エアフィルターを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

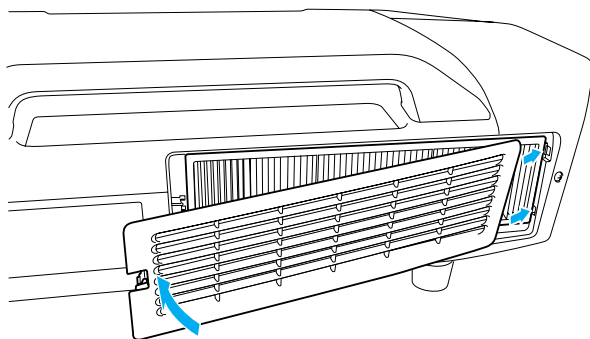
- ⑤ 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。




- ⑥ エアフィルターを取り付けます。



- 7** エアフィルターカバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは交換時期です。
新しいエアフィルターに交換してください。  [p.90](#)

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアフィルターの交換方法について説明します。

リモコンの電池の交換方法

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形アルカリ乾電池2本を用意してください。単3形アルカリ乾電池以外の電池は使用できません。

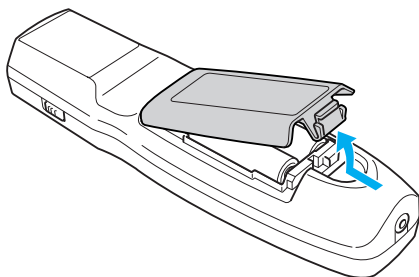
注意

電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。 ➡『安全にお使いいただくために』

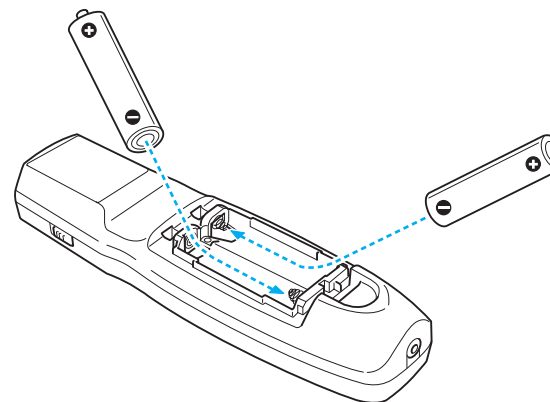
操作

① 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



② 新しい電池と交換します。



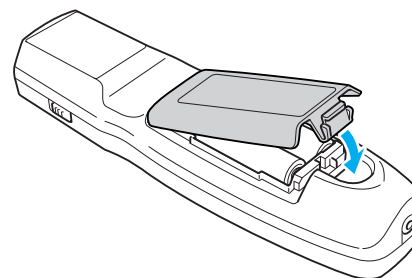
注意

電池ホルダ内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。



③ 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

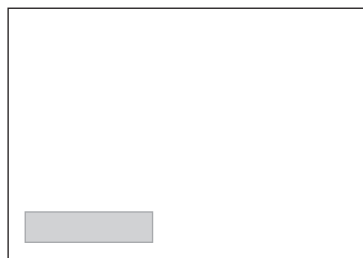


ランプの交換

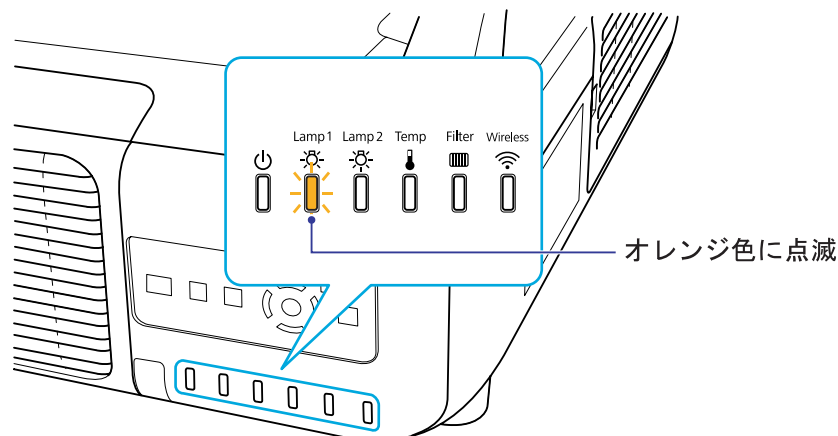
ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに下図のように投写画面の左下に「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき




- Lampインジケータがオレンジ色に点滅したとき
Lamp1/2インジケータのうち、点滅している方のランプを交換します。



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。  p.46
明るさ切替をノーマルで使い続けた場合：約2400時間
明るさ切替をエコで使い続けた場合：約3400時間
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。

ランプの交換方法

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

警告

- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

注意

ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

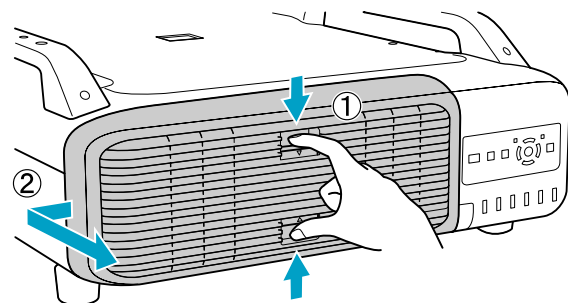
注意

- ランプを必ず2個装着した状態で本機をお使いください。
- 均一な色合いや明るさで映像を投写するために、ランプは2個同時に交換することをお勧めします。

操作

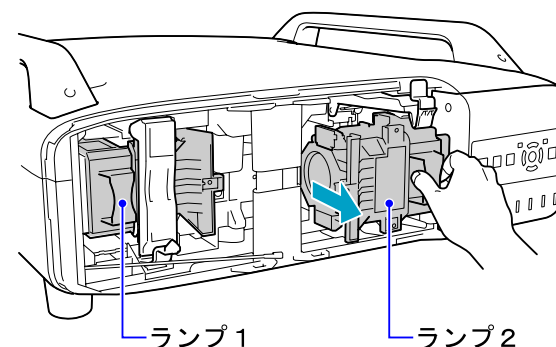
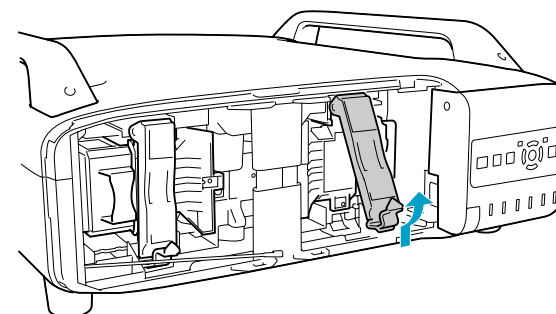
① 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。

② ランプが十分冷えてから、本機背面のランプカバーを外します。ランプカバー開ツマミをつまむとカバーのロックが外れます。ロックが外れたら手前に引いて取り外します。



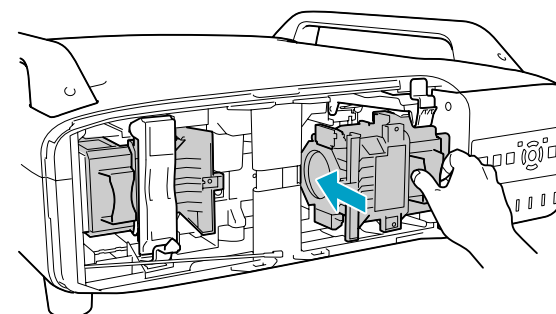
③ 交換するランプのロックレバーを引き上げてランプをまっすぐに引き抜きます。

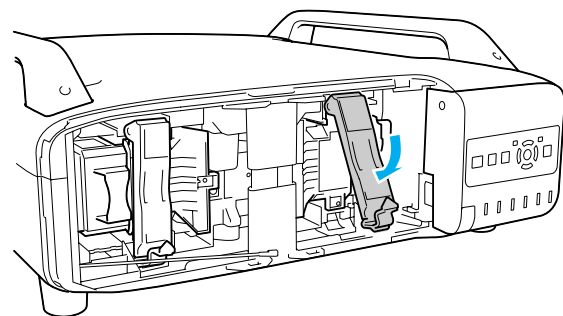
ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください。 ➡ 『お問い合わせ先』



④ 新しいランプを取り付けます。

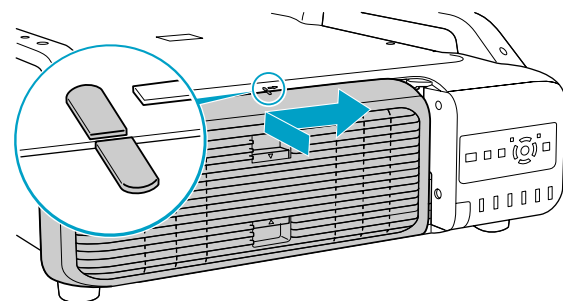
ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。ロックカバーを引き下げて、カチッと音がするまで押します。





5 ランプカバーを取り付けます。

カバーを本体に密着させて、カチッと音がするまで右にスライドさせます。



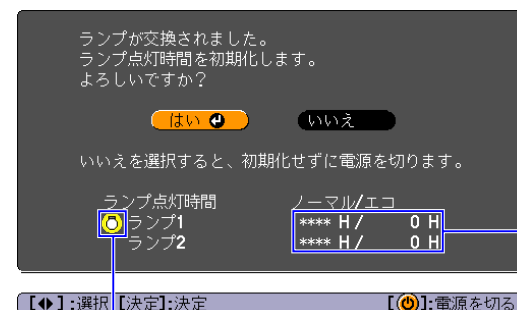
注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的に本機の電源がオフになります。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

ランプ点灯時間の初期化

本機はランプの点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケーターでお知らせします。ランプを交換後、本機の電源を入れるとスクリーンに次のメッセージが投写され、ランプ点灯時間を初期化できます。

はいを選択して[決定]または[Enter]ボタンを押します。



ランプ1が交換されたことを示しています。

各ランプの累積点灯時間を表示しています。
はいを選択して初期化を実行するとランプ1の累積点灯時間が0Hに戻ります。

エアフィルターの交換

エアフィルターの交換時期

次の場合はエアフィルターを交換してください。

- エアフィルターが茶色く変色しているとき。
- エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるとき。

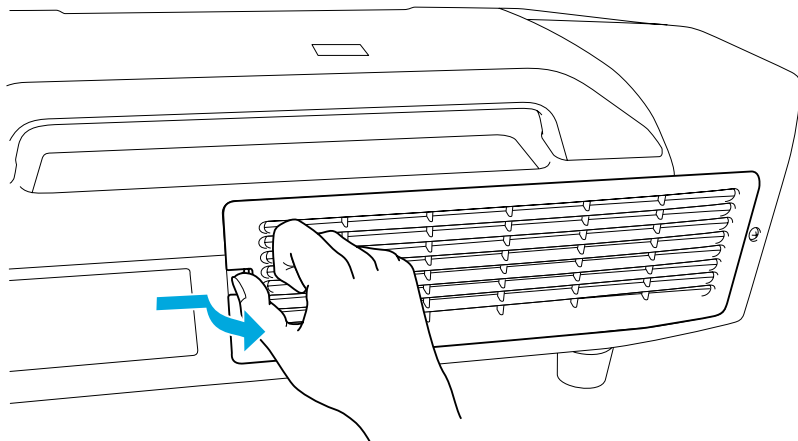
エアフィルターの交換方法

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

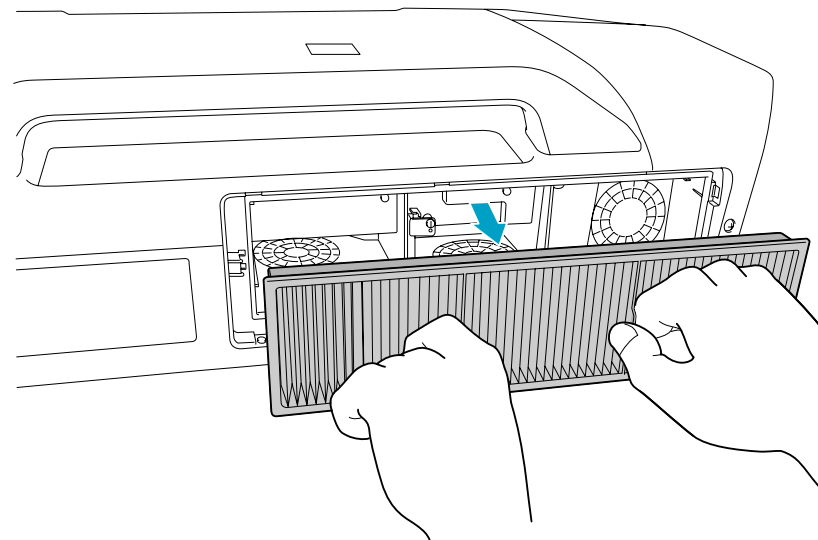
操作

① 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。

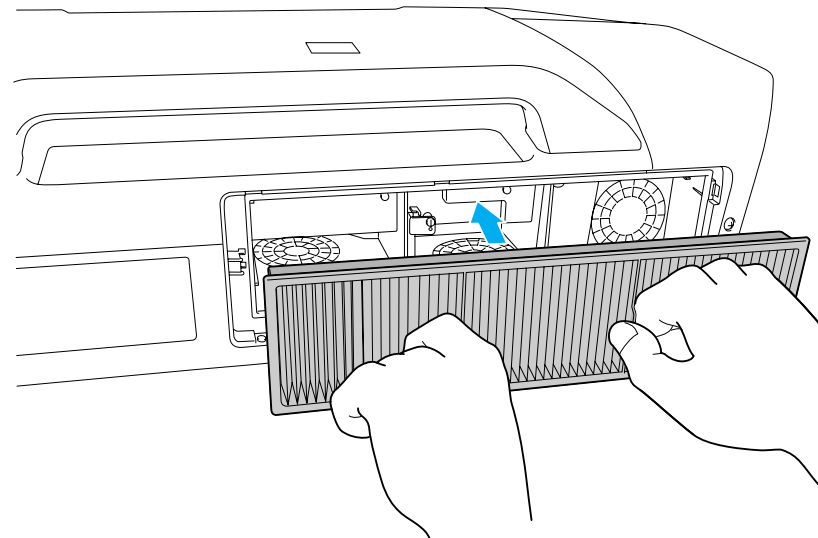
② エアフィルターカバーを取り出します。
エアフィルターカバーのタブに指をかけ、タブを押したままカバーを起こして取り外します。



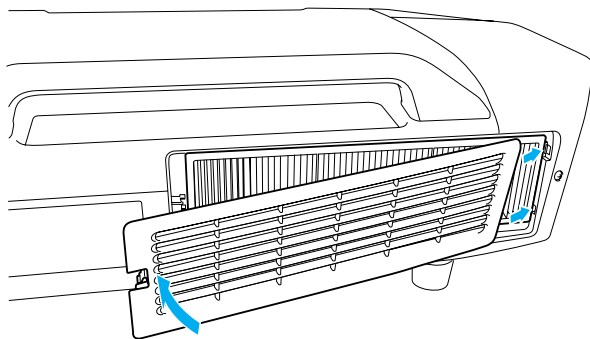
③ エアフィルターを取り出します。



④ 新しいエアフィルターを取り付けます。



⑤ エアフィルターカバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

枠部分の材質：ポリプロピレン

フィルター部分の材質：ポリプロピレン

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2009年7月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

コンピューターケーブル ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 1.8m) 製品同梱のコンピューターケーブルと同等品です。
コンピューターケーブル ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m) コンピューターケーブル ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m) 製品同梱のコンピューターケーブルでは短いときの延長ケーブルです。
D端子ケーブル ELPKC22 (ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m) BSデジタル放送チューナーと接続するときに使います。
コンポーネントビデオケーブル ELPKC19 (ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m) コンポーネントビデオ▶▶▶を投写するときに使います。
リモコンケーブルセット ELPKC28 (10m、2本セット) 離れたところから確実にリモコンで操作したいときに使います。
ワイヤレスマウスレシーバー ELPST16 本機のリモコンでコンピューターのマウスポインターを操作したり、PowerPointファイル投写中にページ送り/戻しの操作をしたいときに使います。
無線LANユニット ELPAP03 (EB-Z8050W用) 本機とコンピューターを無線LANで接続して投写するときに使います。

マルチメディアビューワー ELPDC05

書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

長焦点ズームレンズ ELPLL07

(投写距離比 : a. 約5.76～8.09 b. 約5.83～8.18)

中焦点ズームレンズ ELPLM07

(投写距離比 : a. 約3.85～5.88 b. 約3.92～5.97)

中焦点ズームレンズ ELPLM06

(投写距離比 : a. 約2.64～4.03 b. 約2.68～4.10)

標準ズームレンズ ELPLS04

(投写距離比 : a. 約1.71～2.78 b. 約1.74～2.82)

短焦点ワイドレンズ ELPLW04

(投写距離比 : a. 約1.29～1.77 b. 約1.31～1.80)

リアプロ用ワイドレンズ ELPLR04

(投写距離比 : a. 約0.76 b. 約0.77)

a: EB-Z8050Wの場合 b: EB-Z8000WUの場合

投写距離比=投写距離/投写画面の幅

値は設置の目安です。投写条件により変わります。

低天井用天吊り金具※ ELPMB25

高天井用天吊り金具※ ELPMB26

本機を天井に取り付けるときに使います。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店または『お問い合わせ先』に記載の連絡先にご相談ください。▶▶▶『お問い合わせ先』

消耗品

交換用ランプ (2個入り) ELPLP52

交換用ランプ (1個入り) ELPLP51

使用済みランプと交換します。

エアフィルター ELPAF23

使用済みエアフィルターと交換します。

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

近くへの移動

以下の点を確認して、ハンドルを持って静かに移動してください。

- 本機の電源を切り、すべての配線を外してください。
- レンズにレンズカバーを取り付けてください。
- フット部を収納してください。



注意

本機は重いので、1人で運ばないでください。
開梱や移動の際は2人以上で運んでください。

梱包と輸送の注意

運送業者(宅配業者他)にご相談のうえ、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を保護し、堅固なダンボール箱に入れ、精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。

輸送する場合

梱包の準備

上記の「近くへの移動」の確認点に加えて、以下の準備を行ってから梱包してください。

- 標準ズームレンズ以外のオプションレンズを装着しているときは、レンズユニットを取り外してください。レンズ付きモデルの場合は、標準ズームレンズを取り付けてください。レンズなしモデルの場合は、購入時に本機のレンズ装着部に付いていたカバーを取り付けてください。
- レンズシフトを上下、左右とも中央に設定してください。
- 購入時にセットされていたレンズ保護パッドを装着してください。

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

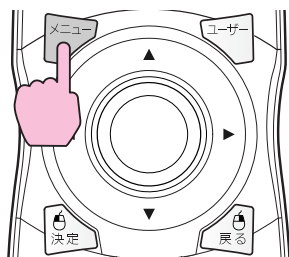


ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

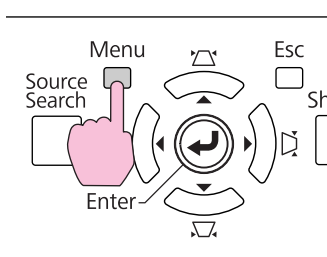
操作

- 1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押します。

リモコンの場合

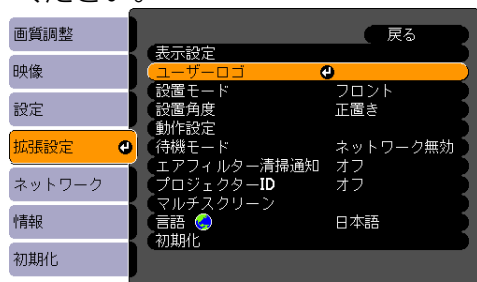


操作パネルの場合



- 2 環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「ユーザーロゴ」を選びます。 ➡ 「環境設定メニューの操作」

使えるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。



【戻る】:戻る 【↔】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了



- パスワードプロテクトでユーザーロゴ保護をオンに設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。ユーザーロゴ保護をオフにしてから操作してください。 ➡ p.36
- 台形補正、Eズーム、アスペクト、プログレッシブ変換を行っているときにユーザーロゴを選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

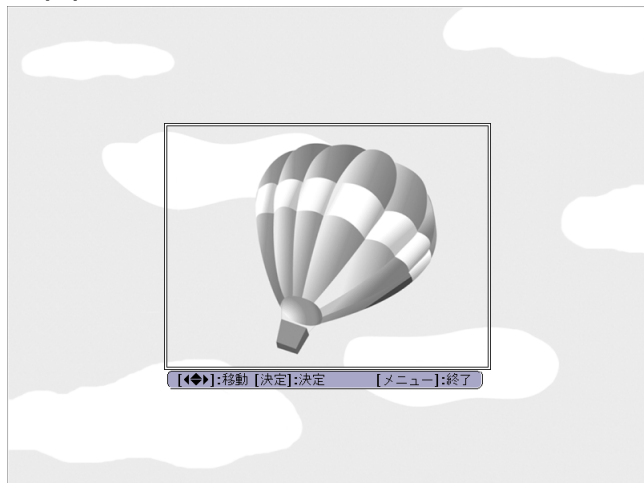


- 3 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

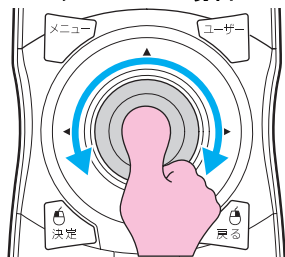


リモコンの[決定]ボタンまたは操作パネルの[Enter]ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

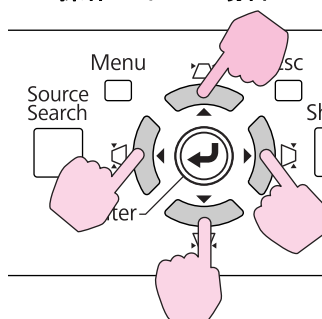
- ④ 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。



リモコンの場合



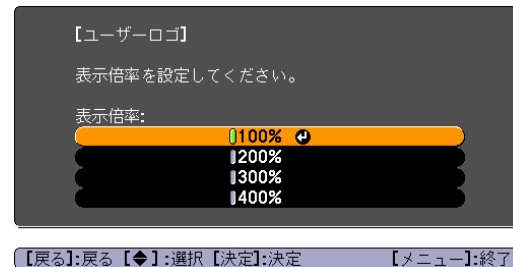
操作パネルの場合



登録できるサイズは400 × 300ドットです。

- ⑤ 「この映像を使用しますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

- ⑥ 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



400%が表示されるのはEB-Z8000WUのみです。

- ⑦ 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。
- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。

WPSの設定には以下の2通りの方式があります。

- プッシュボタン方式

本機操作パネルの[Enter]ボタンとアクセスポイント機器に搭載されている専用ボタンを押せば、**SSID**とセキュリティの設定が自動的に行われます。プロジェクターとアクセスポイントが近くにあるときはこの方式が向いています。

- PINコード方式

プロジェクターにあらかじめ割り振られている8桁の数字をコンピューターを介してアクセスポイント機器へ入力することで、**SSID**とセキュリティの設定が自動的に行われます。コンピューターとアクセスポイント間には、事前に接続設定しておきます。接続方法はアクセスポイント機器の取扱説明書でご確認ください。プロジェクターを天吊り設置しているときは、この方式が向いています。

接続設定の方法

操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して、環境設定メニューから「ネットワーク」 - 「ネットワーク設定画面へ」を選びます。



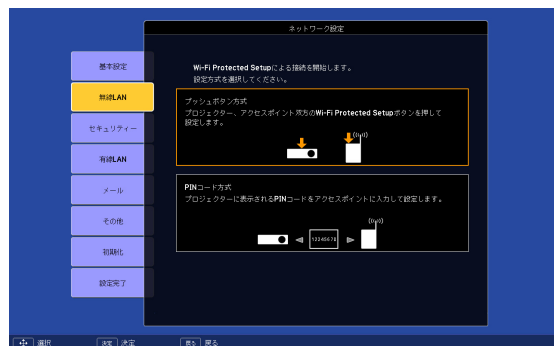
ネットワーク設定画面が表示されます。

2


「無線LAN」 - 「設定ウィザードへ」を選びます。



以下の画面が表示されます。



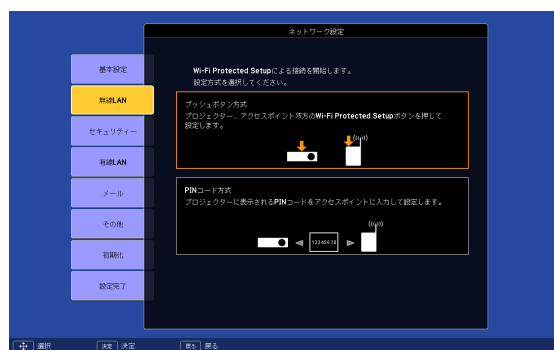
プッシュボタン方式で接続するときは、続く手順に従って操作してください。

PINコード方式で接続するときは、「PINコード方式で接続する」に進んでください。  p.99

プッシュボタン方式で接続する

操作

① 「プッシュボタン方式」を選びます。



「プッシュボタン方式」画面が表示されます。

②

画面の指示に従って本機操作パネルの[Enter]ボタンを押します。



引き続き「プッシュボタン方式」画面が表示されます。

③

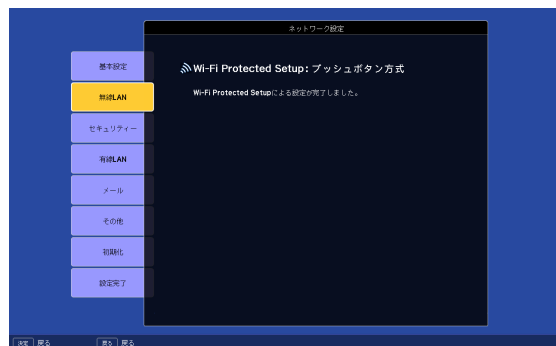
画面の指示に従ってアクセスポイント機器のボタンを押します。



設定が完了します。

④

[Enter]ボタンまたは[Esc]ボタンを押します。



無線LANメニューの画面に戻ります。

⑤ 「設定完了」 - 「はい」を選びます。



以上でプロジェクターとアクセスポイント間の接続が完了しました。[メニュー]ボタンまたは[Menu]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

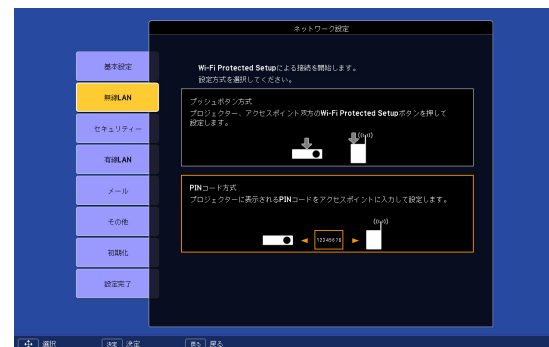
PINコード方式で接続する



PINコード方式で接続する前に、コンピューターとアクセスポイント機器の接続設定をしておきます。

操作

① 「PINコード方式」を選びます。

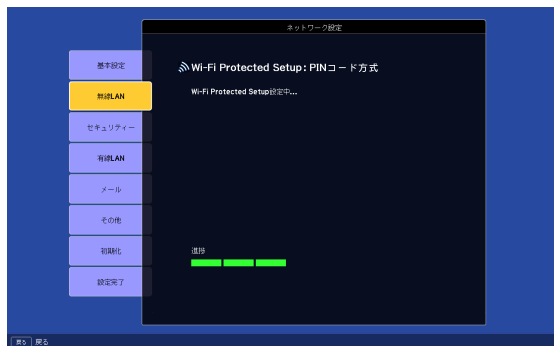


「PINコード方式」画面が表示されます。

② 「PINコード方式」画面に表示されているPINコードをコンピューターからアクセスポイント機器に入力し「設定スタート」を選びます。

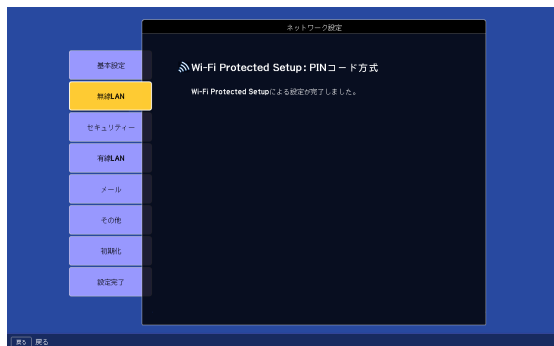


進行状況が表示されます。



3

「Wi-Fi Protected Setup による設定が完了しました。」と表示されたら[決定]ボタンまたは[戻る]ボタンを押します。



無線LANメニューの画面に戻ります。

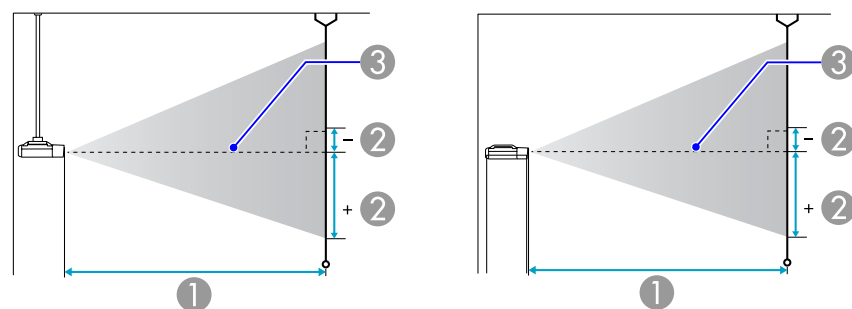
4

「設定完了」 - 「はい」を選びます。



以上でプロジェクターとアクセスポイント間の接続が完了しました。[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

下表は、標準ズームレンズを装着しているときの投写距離です。オプションレンズを装着しているときは、オプションレンズに添付の『取扱説明書』で投写距離を確認してください。下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。



- ① 投写距離
- ② は、レンズ中心から映像下端までの高さです。上下レンズシフトの設定により変わります。
- ③ レンズ中心

EB-Z8000WUの投写距離

単位：cm

4:3 スクリーンサイズ		① 最短 (ワイド)～最長 (テレ)	② 上下レンズシフト 最上～最下
60型	120x90	251 - 410	-19 - 111
80型	160x120	338 - 549	-26 - 148
100型	200x150	424 - 688	-32 - 185
120型	240x180	510 - 828	-39 - 221
150型	300x230	640 - 1036	-48 - 277

4:3 スクリーンサイズ		① 最短 (ワイド)～最長 (テレ)	② 上下レンズシフト 最上～最下
200型	410x300	856 - 1384	-64 - 369
300型	610x460	1288 - 2081	-97 - 554
440型	890x670	1898 - 3062	-142 - 814

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		① 最短 (ワイド)～最長 (テレ)	② 上下レンズシフト 最上～最下
60型	130x75	227 - 371	-22 - 96
80型	180x100	306 - 498	-29 - 129
100型	220x120	384 - 624	-36 - 161
120型	270x150	463 - 751	-43 - 193
150型	330x190	580 - 940	-54 - 241
200型	440x250	777 - 1256	-72 - 321
300型	660x370	1169 - 1888	-108 - 482
485型	1070x600	1899 - 3064	-176 - 781

単位：cm

16:10 スクリーンサイズ		① 最短 (ワイド)～最長 (テレ)	② 上下レンズシフト 最上～最下
60型	130x81	221 - 361	-17 - 98
80型	180x110	297 - 484	-23 - 130
100型	220x130	374 - 607	-28 - 163

16:10 スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド)～最長 (テレ)	上下レンズシフト 最上～最下
120型	270x169	450 - 730	-34 - 196
150型	330x206	564 - 915	-43 - 245
200型	440x275	755 - 1222	-57 - 326
300型	550x344	1137 - 1837	-85 - 489
500型	1100x688	1900 - 3067	-142 - 815

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド)～最長 (テレ)	上下レンズシフト 最上～最下
60型	130x75	224 - 365	-21 - 95
80型	180x100	301 - 490	-28 - 127
100型	220x120	378 - 614	-35 - 159
120型	270x150	455 - 739	-42 - 191
150型	330x190	571 - 925	-52 - 239
200型	440x250	764 - 1236	-69 - 318
300型	660x370	1150 - 1859	-104 - 477
485型	1070x600	1869 - 3016	-168 - 773

EB-Z8050Wの投写距離

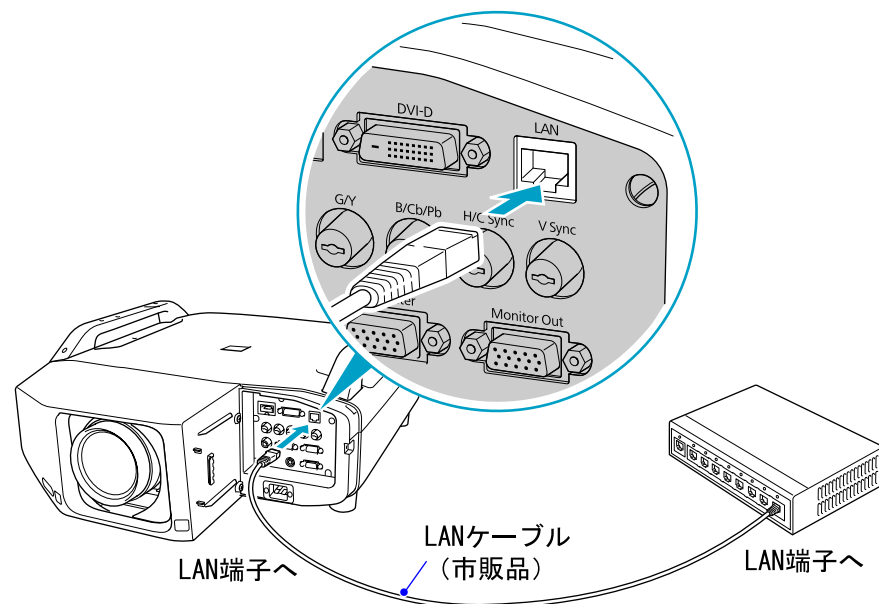
単位：cm

4:3 スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド)～最長 (テレ)	上下レンズシフト 最上～最下
60型	120x90	247 - 403	-18 - 110
80型	160x120	332 - 540	-24 - 146
100型	200x150	417 - 677	-30 - 183
120型	240x180	502 - 814	-37 - 219
150型	300x230	630 - 1020	-46 - 274
200型	410x300	843 - 1363	-61 - 366
300型	610x460	1268 - 2048	-91 - 549
440型	890x670	1868 - 3014	-134 - 807

単位：cm

16:10 スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド)～最長 (テレ)	上下レンズシフト 最上～最下
60型	130x81	217 - 355	-16 - 97
80型	180x110	292 - 476	-22 - 129
100型	220x130	368 - 597	-27 - 162
120型	270x169	443 - 719	-32 - 194
150型	330x206	555 - 900	-40 - 242
200型	440x275	743 - 1203	-54 - 323
300型	550x344	1119 - 1808	-81 - 485
500型	1100x688	1870 - 3019	-135 - 808

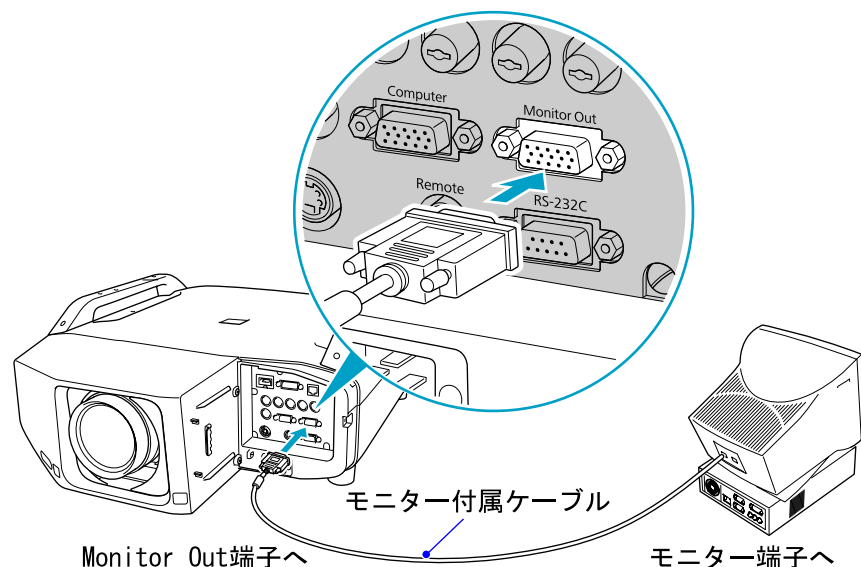
市販の100BASE-TX または10BASE-T タイプのLAN ケーブルで接続します。お使いのモデルによっては、下図とインターフェイスが異なります。(下図はEB-Z8000WU)



注意

LANケーブルは誤動作防止のために、カテゴリ5のシールド付をお使いください。

Computer入力端子、BNC入力端子から入力しているアナログRGBの映像は、本機に接続した外部モニターとスクリーンに同時に表示できます。スクリーンから離れた位置でプレゼンテーションを行うときでも、外部モニターで映像を確認しながら行えます。接続は外部モニターに付属のケーブルで行います。



- コンポーネントビデオ信号やComputer入力端子およびBNC入力端子以外の入力端子に接続したコンピュータやビデオ機器の映像を外部モニターに表示することはできません。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー・ヘルプは外部モニターに出力されません。

あらかじめ、#2の+ドライバーをご用意ください。

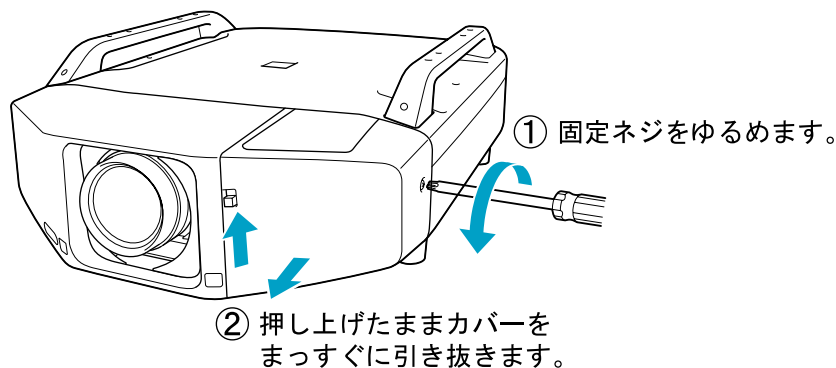
取り外し方

注意

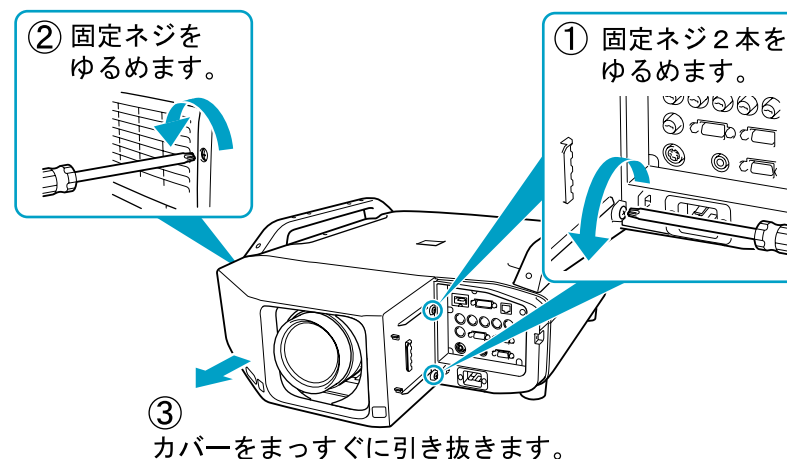
- レンズユニットは必要がないときは取り外さないでください。本機内部にホコリやゴミが入りこむと投写品質の劣化や故障の原因となります。
- レンズ部分に手や指が触れないように作業してください。レンズ面に指紋や皮脂が付くと投写品質が劣化します。
- レンズシフトを行っているときは、事前にシフト位置を中央に合わせてからレンズユニットを交換してください。

操作

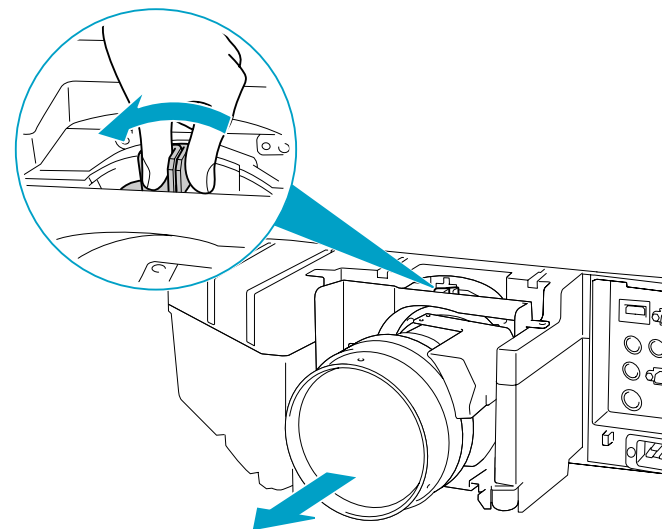
- ① インターフェイスカバーを取り外します。



- ② フロントカバーを取り外します。



- ③ レンズユニットロックレバーをつまんだまま、反時計回りに回します。



- ④ レンズユニットが外れますので、まっすぐに引き抜きます。

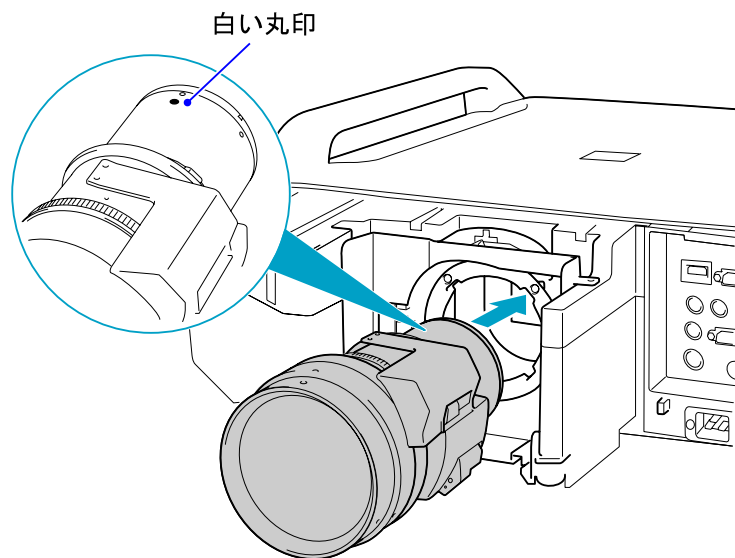
取り付け方

注意

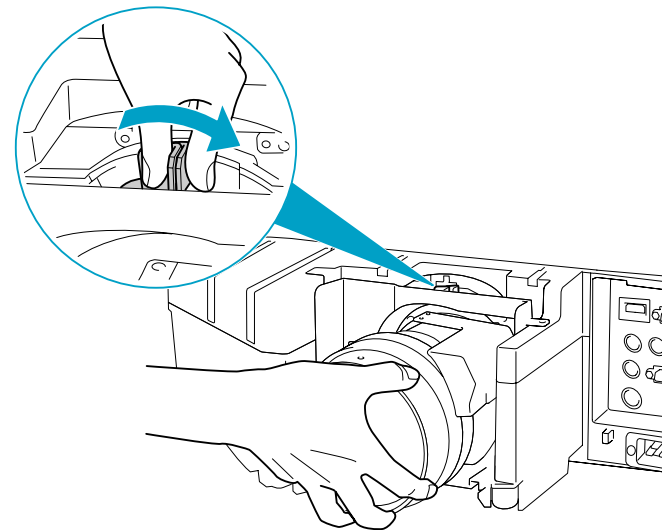
本機のレンズ挿入部を上に向けた状態でレンズユニットを装着しないでください。ホコリやゴミが入る原因となります。

操作

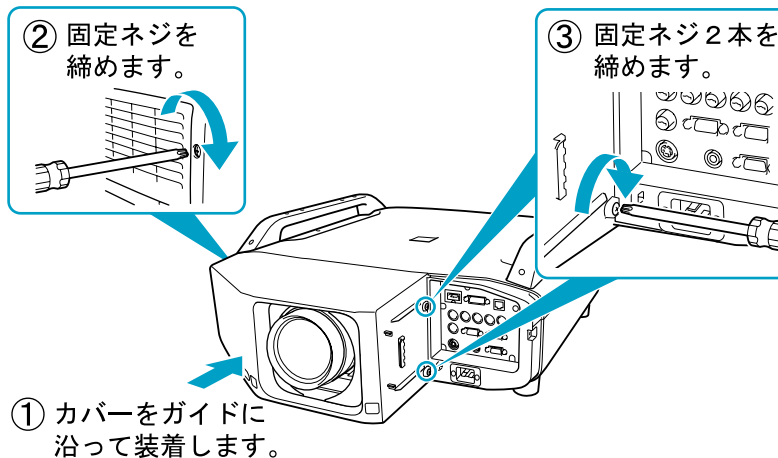
- 1 レンズユニットの白い丸印を上に向けた状態でレンズ装着部にまっすぐ挿入します。



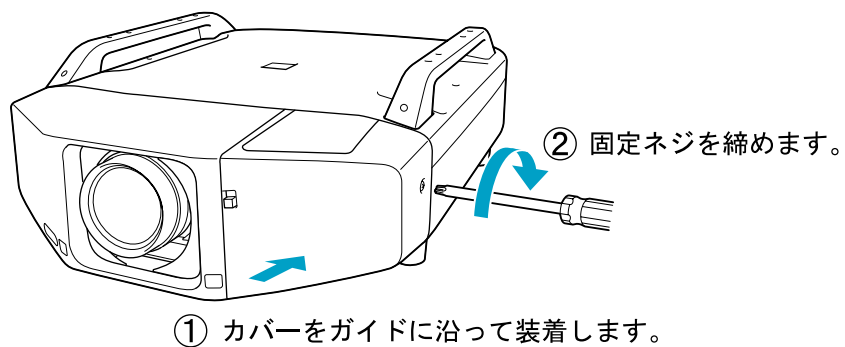
- 2 レンズユニットをしっかり支えた状態で、ロックレバーを時計回りに動かしてロックします。ロック後は、レンズユニットが外れないことを確認してください。



- 3 フロントカバーを取り付けます。



- 4 インターフェイスカバーを取り付けます。



注意

- フロントカバーは必ず取り付けて、使用してください。
- 本機は必ずレンズユニットを装着した状態で保管してください。
レンズユニットを外した状態で保管すると、本機内部にホコリやゴミが入り投写品質の劣化や故障の原因となります。


メール通知機能をオンに設定して、本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。

メールタイトル：EPSON Projector

1行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目：異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す内容は次表のとおりです。異常/警告の対処方法は「インジケータの見方」をご確認ください。  p.69

メッセージ	原因
Auto Iris Error	オートアイリス異常
Cinema Filter Error	シネマフィルター異常
Cinema Filter Warning	シネマフィルター警告 本機はそのまま使用できますが、シネマフィルターは動作しません。
Clean Air Filter	エアフィルター清掃通知
Fan related error	ファン異常
High-speed cooling in progress	高温警告
Internal error	内部異常
Internal temperature error	内部高温異常 (オーバーヒート)
Lamp out	ランプ異常(ランプ1/2とも)
Lamp replacement notification (1) Lamp replacement notification (2)	ランプ交換勧告 (1)はランプ1を、(2)はランプ2を示しています。通知された対象のランプが寿命に達しました。
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗(ランプ1/2とも)

メッセージ	原因
Lamp Warning (1) Lamp Warning (2)	ランプ消灯警告 (1)はランプ1を、(2)はランプ2を示しています。通知された対象のランプが消灯しています。
Low Air Flow	エアフィルター風量低下
Low Air Flow Error	エアフィルター風量低下異常
No Air Filter	エアフィルター未装着/エアフィルターセンサー故障
No-signal	ノーシグナル 本機に映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
Peltier Device error	冷却システム異常(ペルチェ素子)
Power Err. (Ballast)	電源系異常(バラスト)
Power Warning. (Ballast) (1) Power Warning. (Ballast) (2)	電源系警告(バラスト) (1)はランプ1を、(2)はランプ2を示しています。通知された対象のランプが消灯しています。
Pump Error	冷却システム異常(ポンプ)
Sensor error	センサー異常
Shutter Error	シャッター異常
Shutter Warning	シャッター警告 本機はそのまま使用できますが、電動シャッターは動作しません。

メッセージの最初に(+)や(-)が付きます。

(+)：本機に異常が発生した場合

(-)：本機の異常が対処された場合

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン ‘:’ (3Ah)を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 ‘:’ を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に ‘:’ を返信します。

項 目			コマン
電源のオン/オフ	オン		PWR ON
	オフ		PWR OFF
信号切り替え	コンピューター	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	BNC	オート	SOURCE BF
		RGB	SOURCE B1
		コンポーネント	SOURCE B4
	HDMI		SOURCE A0
	DVI-D		SOURCE 30
	ビデオ		SOURCE 45
	S-ビデオ		SOURCE 42
シャッターのオン/オフ	オン		MUTE ON
	オフ		MUTE OFF

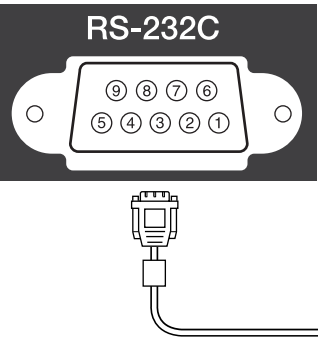
各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

ケーブル配線

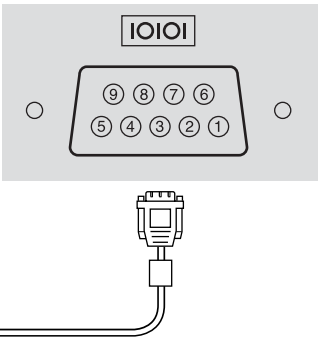
シリアル接続

- コネクター形状：D-Sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名：RS-232C

＜プロジェクター側＞



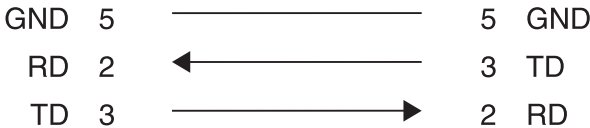
＜コンピューター側＞



＜プロジェクター側＞

(PCシリアルケーブル)

＜コンピューター側＞



信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class1が策定されました。

本機は、JBMIA が策定したPJLink Class1の規格に適合しています。

PJLink Class1で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL : <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

• 非対応コマンド

機 能	PJLinkコマンド
映像ミュート設定	AVMT 11

• PJLinkで定義している入力名と本機の入力ソースの対応

入力ソース	PJLinkコマンド
コンピューター	INPT 11
BNC	INPT 13
ビデオ	INPT 23
S-ビデオ	INPT 22
DVI-D	INPT 31
HDMI	INPT 32

- 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名
EPSON

- 「機種情報問合せ」で表示する機種名
EB-Z8050W/PowerLite Pro Z8050W
EB-Z8000WU/PowerLite Pro Z8000WU

EB-Z8000WUの対応解像度

コンピューター映像 (アナログRGB)

単位：ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
VGA	60/72/75/85/iMac※ ¹	640x480	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	640x480
SVGA	56/60/72/75/85/iMac※ ¹	800x600	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	800x600
XGA	60/70/75/85/iMac※ ¹	1024x768	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1024x768
WXGA	60/75/85	1280x768	1920x1152	1920x1080	1920x1200	1920x1152	1280x768
	60	1360x768	1920x1084	1920x1080	1920x1200	1920x1084	1360x768
	60/75/85	1280x800	1920x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900	1920x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1440x900
WSXGA+	60	1680x1050	1920x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1680x1050
SXGA	70/75/85	1152x864	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1152x864
	60/75/85	1280x1024	1500x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1280x1024
	60/75/85	1280x960	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1280x960
SXGA+	60※ ² /75/85	1400x1050	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1400x1050
UXGA	60	1600x1200	1600x1200	非対応	1920x1200	1920x1200	1600x1200
WUXGA※ ³	60	1920x1200	1920x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1920x1200
MAC13"	67	640x480	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	640x480
MAC16"	75	832x624	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	832x624
MAC19"	75	1024x768	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1024x768
	60	1024x768	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1024x768

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
MAC21"	75	1152x870	1588x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1152x870

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

※2 環境設定メニューの入力解像度でノーマルを選択した場合のみ

※3 VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 信号のみ対応

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
SDTV(480i)	60	720x480	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	640x480
SDTV(576i)	50	720x576	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	768x576
SDTV(480p)	60	720x480	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	640x480
SDTV(576p)	50	720x576	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	768x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720	1920x1080	1920x1080	1920x1200	1920x1080	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080	1920x1080	1920x1080	1920x1200	1920x1080	1920x1080
HDTV(1080p)	50/60	1920x1080	1920x1080	1920x1080	1920x1200	1920x1080	1920x1080

コンボジットビデオ/S-ビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
TV(NTSC)	60	720x480	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	640x480
TV(PAL,SECAM)	50	720x576	1600x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	768x576

HDMI/DVI-D入力端子からの入力信号

単位：ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード			
			16:9	フル	ズーム	リアル
VGA	60	640x480	1920x1080	1920x1200	1920x1200	640x480
SVGA	60	800x600	1920x1080	1920x1200	1920x1200	800x600
XGA	60	1024x768	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1024x768
WXGA	60	1280x800	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1280x800
SXGA	60	1280x960	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1280x960
	60	1280x1024	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1280x1024
SXGA+	60	1400x1050	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1400x1050
UXGA	60	1600x1200	非対応	1920x1200	1920x1200	1600x1200
WUXGA※	60	1920x1200	1920x1080	1920x1200	1920x1200	1920x1200
SDTV(480i)	60	720x480	1920x1080	1920x1200	1920x1200	640x480
SDTV(480p)	60	720x480	1920x1080	1920x1200	1920x1200	640x480
SDTV(576i)	50	720x576	1920x1080	1920x1200	1920x1200	768x576
SDTV(576p)	50	720x576	1920x1080	1920x1200	1920x1200	768x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720	1920x1080	1920x1200	1920x1080	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080	1920x1080	1920x1200	1920x1080	1920x1080
HDTV(1080p)	24/30/50/60	1920x1080	1920x1080	1920x1200	1920x1080	1920x1080

※ VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 信号のみ対応

EB-Z8050Wの対応解像度

コンピューター映像 (アナログRGB)

単位：ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
VGAEGA	70	640x350	1280x700	1280x720	1280x800	1280x700	640x350
VGA	60/72/75/85/iMac※ ¹	640x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SVGA	56/60/72/75/85/iMac※ ¹	800x600	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	800x600
XGA	60/70/75/85/iMac※ ¹	1024x768	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1024x768
WXGA	60/75/85	1280x768	1280x768	1280x720	1280x800	1280x768	1280x768
	60	1360x768	1280x722	1280x720	1280x800	1280x722	1280x800
	60/75/85	1280x800	1280x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900	1280x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
WSXGA+	60	1680x1050	1280x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
SXGA	70/75/85	1152x864	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
	60/75/85	1280x1024	1000x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
	60/75/85	1280x960	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
SXGA+	60※ ² /75/85	1400x1050	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
UXGA	60	1600x1200	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
WUXGA※ ³	60	1920x1200	1280x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
MAC13"	67	640x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
MAC16"	75	832x624	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	832x624
MAC19"	75	1024x768	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1024x768
	60	1024x768	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1024x768

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
MAC21"	75	1152x870	1059x800	1280x720	1280x800	1280x800	1152x800

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

※2 環境設定メニューの入力解像度でノーマルを選択した場合のみ

※3 VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 信号のみ対応

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写することがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
SDTV(480i)	60	720x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SDTV(576i)	50	720x576	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	768x576
SDTV(480p)	60	720x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SDTV(576p)	50	720x576	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	768x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720	1280x720	1280x720	1280x800	1280x720	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080	1280x720	1280x720	1280x800	1280x720	1280x800
HDTV(1080p)	50/60	1920x1080	1280x720	1280x720	1280x800	1280x720	1280x800

コンボジットビデオ/S-ビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
TV(NTSC)	60	720x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
TV(PAL,SECAM)	50	720x576	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	768x576

HDMI/DVI-D入力端子からの入力信号

単位：ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード			
			16:9	フル	ズーム	リアル
VGA	60	640x480	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SVGA	60	800x600	1280x720	1280x800	1280x800	800x600
XGA	60	1024x768	1280x720	1280x800	1280x800	1024x768
WXGA	60	1280x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
SXGA	60	1280x960	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
	60	1280x1024	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
SXGA+	60	1400x1050	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
UXGA	60	1600x1200	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
WUXGA※	60	1920x1200	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
SDTV(480i)	60	720x480	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SDTV(480p)	60	720x480	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SDTV(576i)	50	720x576	1280x720	1280x800	1280x800	768x576
SDTV(576p)	50	720x576	1280x720	1280x800	1280x800	768x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720	1280x720	1280x800	1280x720	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080	1280x720	1280x800	1280x720	1280x800
HDTV(1080p)	24/30/50/60	1920x1080	1280x720	1280x800	1280x720	1280x800

※ VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 信号のみ対応

本機仕様

商品名		EB-Z8050W	EB-Z8000WU
外形サイズ		幅534×高さ167×奥行734mm(突起部含まず)	
パネルサイズ		0.95型ワイド	0.94型ワイド
表示方式		ポリシリコンTFTアクティブマトリクス	
画素数		1,024,000個 WXGA(横1280×縦800ドット)×3	2,304,000個 WUXGA(横1920×縦1200ドット)×3
フォーカス調整		電動	
ズーム調整※1		電動(1-1.6)	
レンズシフト※1		電動(上下方向最大約70%、左右方向最大約20%)	
ランプ		UHEランプ 定格330W 2個 型番：ELPLP52(2個入り)/ELPLP51(1個入り)	
電源		100-240V AC ±10%, 50/60Hz 10.7-4.5A	
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：938W 待機時消費電力 (ネットワーク有効)：10.2W 待機時消費電力 (ネットワーク無効)：0.3W	定格消費電力：942W 待機時消費電力 (ネットワーク有効)：11.2W 待機時消費電力 (ネットワーク無効)：0.3W
	200-240Vエリア	定格消費電力：872W 待機時消費電力 (ネットワーク有効)：12.0W 待機時消費電力 (ネットワーク無効)：0.5W	定格消費電力：877W 待機時消費電力 (ネットワーク有効)：13.1W 待機時消費電力 (ネットワーク無効)：0.5W
動作高度		標高 0～3048m	
動作温度範囲		0～45℃※2 (結露しないこと)	
保存温度範囲		-10～+60℃ (結露しないこと)	
質量		約22kg	

※1 標準ズームレンズを装着しているときの仕様です。他のオプションレンズ装着時の仕様はレンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

※2 標高1500～3048mの環境で、明るさ切替をノーマルに設定しているときは0～40℃。

接続端子

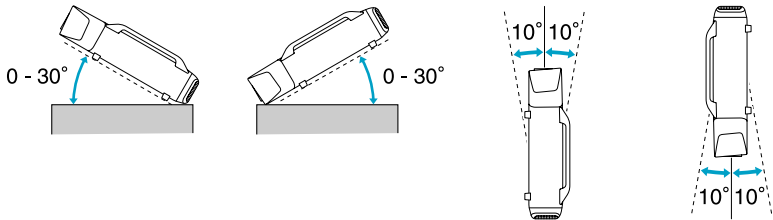
Computer入力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)青
BNC入力端子	1系統	5BNC(メス)
HDMI入力端子※	1系統	HDMI HDCP対応 CEC信号非対応
DVI-D入力端子※	1系統	DVI-D 24pin シングルリンク HDCP対応
Video入力端子	1系統	1BNC(メス)
S-Video入力端子	1系統	ミニDIN 4pin
Monitor Out端子	1系統	ミニD-SUB 15pin(メス) 黒
LAN端子	1系統	RJ-45
無線LAN用端子	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)無線LANユニット専用
RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin(オス)
Remote端子	1系統	ステレオミニピンジャック

※ HDMIおよびDVI-D対応機器と接続して投写できます。ただし、機器によっては映像が投写されないことがあります。



本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。

傾斜角度



上記以外の角度でお使いになると、故障や事故の原因となります。

ソフトウェアの動作条件

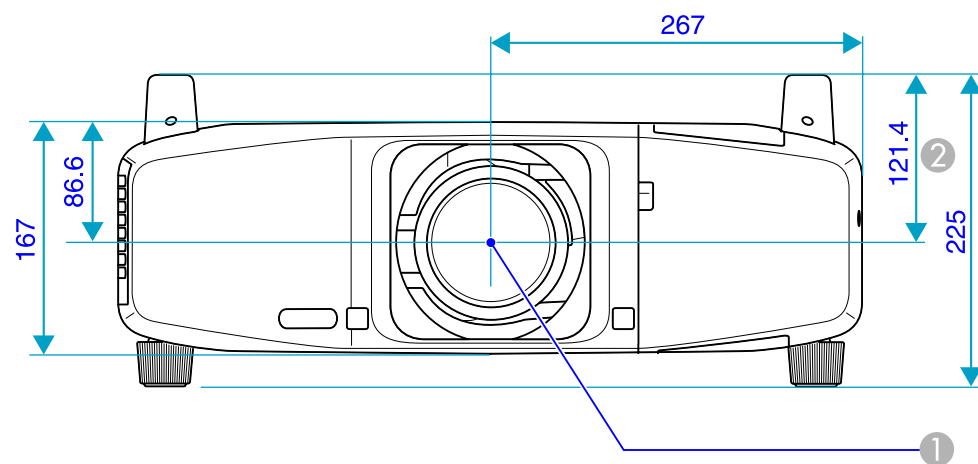
本機に添付のソフトウェアは、以下の条件を満たすコンピュータで動作します。

	EasyMP Network Projection	EasyMP Monitor
OS	Windows 2000 SP4/XP/XP SP1/XP SP2/XP SP3/Vista/Vista SP1 Mac OS X 10.3 以上 推奨：Mac OS X 10.5.1 以上10.4.11/10.3.9	Windows 98 Second Edition SP1/Windows Me/Windows NT4.0 SP6/Windows 2000 Professional SP4/ Windows XP Home Edition SP2以降/Windows XP Professional SP2以降/Windows Vista(Starterを除くすべてのエディション)/Windows Vista SP1(Starterを除くすべてのエディション)
CPU	Mobile Pentium III 1.2GHz以上 Power PC G3 900MHz以上 推奨：Pentium M1.6GHz 以上 CoreDuo 1.5GHz以上	Pentium MMX 166MHz以上 推奨：Pentium II 233MHz以上
メモリー容量	256MB以上 推奨：512MB以上	64MB以上
ハードディスク 空き容量	20MB以上	50MB以上
ディスプレイ	XGA(1024x768) 以上の解像度 16ビットカラー以上の表示色約32000色の表示色	SVGA(800x600)以上の解像度 32ビットフルカラー以上の表示色

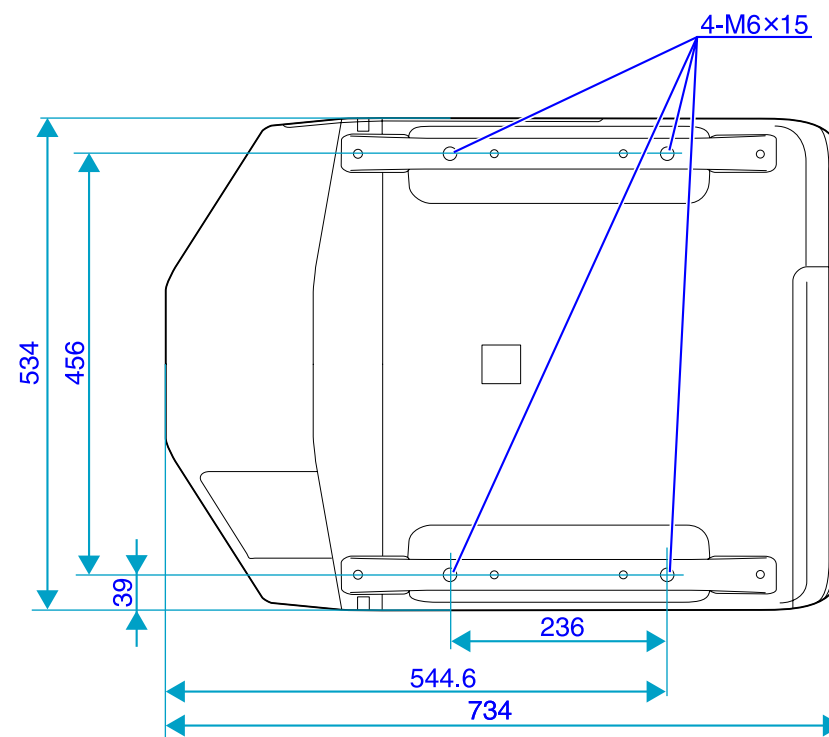
Internet Explorer Ver.5以降がインストールされている必要があります。

以下のOSでは、EasyMP Monitorを使用する際に管理者権限が必要です。

Windows 2000/Windows NT4.0/Windows XP/Windows Vista



- ① レンズ中心
- ② レンズ中心から天吊固定部までの寸法



単位：mm

本書で使用している用語で本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。詳細に関しては、AMX社のWEBサイトを参照してください。 URL http://www.amx.com/
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、 IPアドレス を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略でDVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正にコピーされるのを防止する著作権保護技術です。本機のDVI-D、HDMI入力端子はHDCPに対応しているためHDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査) • 画面のアスペクト比は16:9 • ドルビーデジタル音声の受信、再生(あるいは出力)
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 HDTV の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルータやコンピューター、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのことを呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。
インターレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。

ゲートウェイアドレス	サブネットマスク▶によって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。
サブネットマスク	IPアドレス▶から、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレス▶のことです。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカーを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカー、リア2chスピーカー、サブウーファーを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

本製品について

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にしてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

電波法による規制

電波法により次の行為は禁止されています。

- 改造および分解の禁止 (アンテナ部分を含む)
- 適合証明ラベルの剥離
- IEEE 802.11a(5GHz帯)の屋外使用

商標について

Macintosh、Mac、iMacは、Apple Inc.の商標です。

Windows Vista および Windowsロゴは米国Microsoft Corporation及びその関連会社の商標です。

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMacは、Apple Inc.の商標です。

Windows、Windows NT、PowerPointは米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

⌘ インジケーター 69

数字・アルファベット

AMX Device Discovery 63
 BNC同期終端 48
 BNC入力端子 11
 Computer入力端子 11
 DHCP 50, 61
 DVI/HDMIビデオレベル 45
 DVI-D入力端子 12
 ESC/VP21 109
 Eズーム 30
 Filterインジケーター 69
 HDMI入力端子 11
 IPアドレス 50, 61
 Lamp1/2インジケーター 69
 LAN端子 11, 103
 MACアドレス 50, 61
 Monitor Out端子 11, 104
 PLink 111
 PLink/パスワード 50, 54
 Quick Corner 17, 46
 Remote端子 11
 RS-232C端子 11, 109
 SMTPサーバー 51, 62
 SNMP 50
 sRGB 22
 S-Video入力端子 11
 Tempインジケーター 69
 Video入力端子 11
 Web制御 52
 Web制御パスワード 50, 54

ア

明るさ 43
 明るさ切替 46
 アスペクト 24, 45
 宛先1/2/3設定 51
 色合い 43
 色の濃さ 43
 インジケーター 69
 インターフェイスカバー 10, 105
 エアフィルター清掃通知 48
 エアフィルターの交換時期 90
 エアフィルターの交換方法 90
 エアフィルターの掃除 84
 映像メニュー 44
 エコ 46
 オートアイリス 23, 44
 オーバーヒート 70
 オプション品 93

カ

解像度 112
 拡張設定メニュー 47
 各部の名称と働き 10
 画質調整メニュー 43
 カスタム 22
 カラー調整 43
 カラーモード 22, 43
 環境設定メニュー 42
 基本設定メニュー 54
 吸気口 10
 傾斜角度 119
 ゲートウェイアドレス 50, 56, 61
 言語 48

高地モード 48
 故障かなと思ったら 69
 コントラスト 43

サ

サブネットマスク 50, 61
 シアター 22
 自動調整 44
 シネマフィルター 22
 シャープネス 43
 シャッター 23
 シャッタータイマー 48
 仕様一覧 118
 情報メニュー 65
 消耗品 93
 初期化メニュー 66
 ズームボタン 15
 スクリーンサイズ 101
 スタートアップスクリーン 47
 スポーツ 22
 スリープモード 48
 静止 24
 セキュリティスロット 10
 セキュリティメニュー 57
 絶対色温度 43
 設置角度 48
 設置モード 47
 設定メニュー 46
 全初期化 66
 全ロック 38
 操作パネル 12
 操作ボタンロック 38, 46
 操作ロック 38

ソフトキーボード 51, 53

タ

ターゲットスコープ 30
 対応解像度 112
 待機モード 48
 台形補正 46
 ダイナミック 22
 ダイレクトパワーオン 48
 通知イベントの指定 62
 テストパターン 47
 電源端子 11
 電源投入時 36
 電池の交換方法 87
 天吊り 47
 天吊り固定部 10
 問い合わせコード 38
 同期 44
 同期情報 65
 動作温度範囲 118
 動作設定 48
 投写距離 101
 投写レンズ 10, 105
 トラッキング 44
 トラップIPアドレス1/2 50

ナ

入力解像度 65
 入力検出 13, 20
 入力信号 65
 入力信号方式 45
 入力ソース 65
 ネットワーク保護 37, 52

ネットワークメニュー 49, 52
 ノイズリダクション 45
 ノーマル 46

ハ

背景表示 47
 パスワードプロテクト 36, 52
 パスワードプロテクトシール 37
 ハンドル 10, 40
 ビデオ信号方式 45, 65
 表示位置 45
 表示設定 47
 フォト 22
 プレゼンテーション 22
 プログレッシブ変換 45
 プロジェクターID 32
 プロジェクターキーワード 55
 プロジェクター名 51, 54
 フロント 47
 フロントカバー 10, 105
 フロントフット 10
 ヘルプ機能 68
 ポインター 29
 ポインター形状 46
 ポート番号 51, 62
 保存温度範囲 118
 本機の掃除 84

マ

マルチスクリーン 48
 無線LAN電源 55
 無線LANメニュー 55
 メール 51

メールアドレス1/2/3 62
 メール通知機能 51, 62
 メールメニュー 62
 メッセージ表示 47
 メニュー 42
 メニューサイズ 47

ヤ

ユーザーロゴ 95
 ユーザーロゴ保護 36
 有線LAN 50
 有線LANメニュー 61
 優先ゲートウェイ 63

ラ

ランプカバー 12
 ランプ点灯時間 65
 ランプ点灯時間の初期化 90
 ランプの交換時期 88
 ランプの交換方法 88
 リア 47
 リアスクリーン 83
 リフレッシュレート 65
 リモコン 14
 リモコンID 33
 リモコン受光部 10
 レンズシフトボタン 15
 レンズ操作ロック 39
 レンズボタン 13, 14

ワ

ワイドサイズの映像 24